



2026

組合員大会

.... JAしまねのめざす姿



持続可能な農業の実現



豊かでくらしやすい
地域共生社会の実現



協同組合としての
役割発揮



JAしまね 出雲地区本部

2026年組合員大会資料 差込資料

JAリフォームローン掲載内容の一部変更について

組合員大会資料に掲載しております「JAリフォームローン」のチラシにつきまして、令和8年7月1日現在、店頭標準金利が変更となっておりますので、下記のとおり読み替えてくださいますようお願いいたします。

【該当資料】JAリフォームローンチラシ（本冊P80） 上部 金利表示欄

該当箇所	変更前（令和8年5月1日現在）		変更後（令和8年7月1日現在）
固定金利（0.30%引下げ後）	年2.30%	→	年2.60%
店頭標準金利	年2.60%より	→	年2.90%より

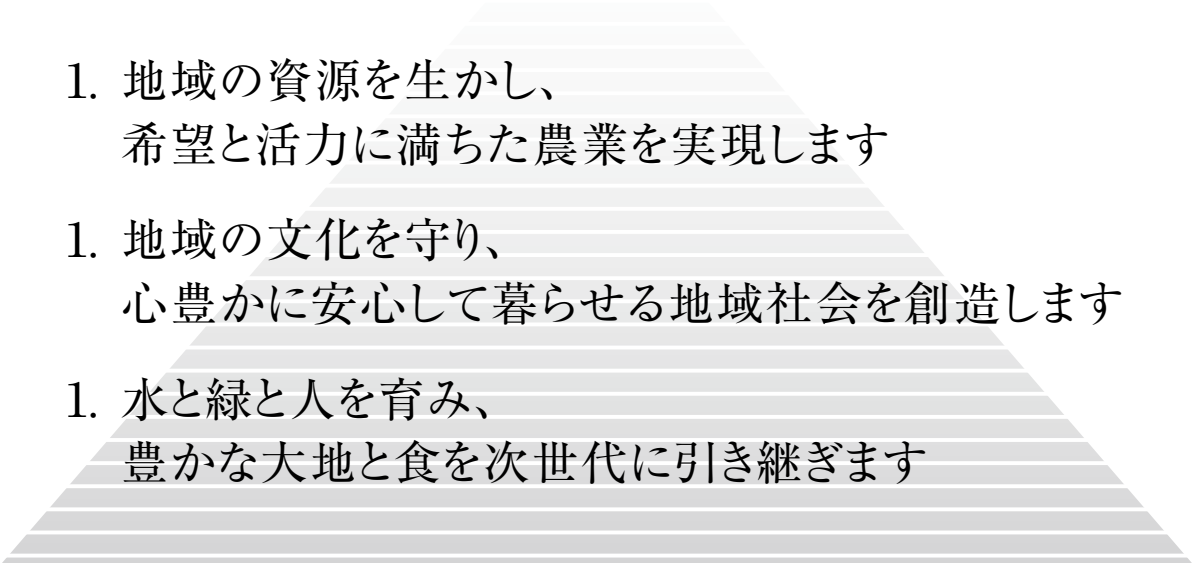
※今後の金融情勢等により、金利は変更となる場合がございます。

次第

1. 開会のあいさつ
2. JAしまね出雲地区本部
事業概況DVD上映
3. 地元代表あいさつ
4. 役員あいさつ
5. 意見交換
6. 閉会のあいさつ

JAしまね 基本理念

「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- 
1. 地域の資源を生かし、
希望と活力に満ちた農業を実現します
 1. 地域の文化を守り、
心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
 1. 水と緑と人を育み、
豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

目 次

○事業報告

JAしまね 第12事業年度 事業報告

・事業活動の概況	4
・組織の概要	8
組合員の状況(組合員の数、出資口数)	8
役員の状況	9
職員の状況	9
組織の構成(組合の機構)	10

出雲地区本部 第12事業年度 事業報告

・事業の概況	12
・令和7年度 事業活動の内容	14
・令和7年度 営農センター活動報告	19
・損益の状況	23
・事業別の明細	24
・組織の概要	27
組合員の状況(組合員数、出資口数)	27
組合員数・戸数一覧表	28
理事・地区本部運営委員の状況	29
職員の状況	29
組合員組織	30
機構図	31

○事業計画

JAしまね 第13事業年度 事業計画

・基本方針	34
・総合収支計画	37

出雲地区本部 第13事業年度 事業計画

・令和8年度 基本方針	40
・令和8年度 重点実施事項	42
・事業計画	46
・総合損益計画	48
・令和8年度 営農センター活動方針・重点事項	49

○各部からのお知らせ

・営農部	55
・自動車燃料部	67
・生活部	72
・出雲統括支店(金融・共済)	78
・企画総務部	98

JALしまね

第12事業年度 事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

事業活動の概況

組織の概要

組合員の状況(組合員の数、出資口数)

役員の状況

職員の状況

組織の構成(組合の機構)



事業活動の概況

組合の事業活動の概況に関する事項

当該事業年度の末日における主要な事業活動の内容と成果

〈JAを巡る情勢〉

令和7年度は長引くウクライナ情勢に加え、中東情勢も悪化したことによりエネルギー供給や物流網の分断リスクが顕在化し、資源価格の高騰を招くなど、世界経済はさらに不安定な状況となっています。

国内では為替が円安基調で推移するなか、輸入原材料やエネルギーコストの上昇により企業収益や家計負担に影響を及ぼしました。加えて、猛暑の常態化・豪雨などの異常気象の発生や、令和8年1月には島根県東部を震源とした最大震度5強の地震が発生するなど、農業経営においても厳しい環境となりました。また、政府では「食料品の消費税ゼロ」について議論が展開されるなか、実際に施行された場合には、農業経営に大きな影響を及ぼすことが危惧されています。一方、近年は米価の上昇や需給の不安定化が社会的な関心を集めたことにより、農業問題が消費者の生活に直結する形で認識されつつあります。

こうしたなか、JAグループにおいては引き続き「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合の役割発揮」の実現に向け、農業生産基盤や地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化の取り組みを進めたほか、令和6年に改正された食料・農業・農村基本法を踏まえ、「食料安全保障の確保」、「適正な価格形成」に向けた国民理解醸成及び行動変容に向けた情報発信の取り組みを進めました。

〈主な事業活動と成果〉

令和7年度は、「第4次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度として、鍵となる園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大、東・中部米集約倉庫の新設など農業生産基盤整備の拡充に取り組みました。

販売事業について、米穀は令和7年産の島根県における水稻の作況反収指数が106（前年作況指数100）となり、主食用の収穫量は82,900tで、前年産比6,800tの増加となりました。また、集荷数量は令和8年3月末現在で30,350tとなり、出荷契約に対する集荷進捗は94.4%、前年対比では105.5%となりました。

園芸は、島根ぶどうのうちデラウェアの出荷量は716tと減少しましたが、kg単価において過去最高を更新する1,527円（税別）となりました。シャインマスカット等大粒系ぶどうは早い梅雨明け等、天候に恵まれたことで順調な出荷となり、ぶどう全体では販売金額2,210百万円となりました。柿については、春先の凍霜害などで出荷量は減少し、他産地の柿が多く出回るなど厳しい販売環境となりましたが、宣伝活動等の販売促進に取り組み、販売金額303百万円（前年比65%）となりました。

畜産は、ロシア・ウクライナをはじめとする不安定な世界情勢や円安の影響を受けた飼料価格高騰が続くなか、配合飼料安定基金の発動も無い中ではありましたが、生産者組織・関係機関と共に畜産物の消費拡大と、購買者誘致・肉質データ提供による有利販売や販路拡大に取り組みました。

肉牛は、飼料コストや諸材料費の高騰などの生産コスト高と農家の高齢化により、農家数及び飼養頭数の減少を受けて、全国の屠畜頭数は前年割れに突入しました。素牛不足による和牛子牛の

取引価格の高騰に加え、代替タンパクの台頭などにより、卸業者の販売環境も厳しく、販売価格の好転が見込めない状況から、肥育経営の採算が急速に悪化しています。

酪農は、生乳の消費の低迷が続き、需給緩和傾向が続いていることや為替市場における円安傾向の再燃により輸入に依存せざるを得ない配合飼料価格や資材費、燃料代の高騰がなお続いている状況で酪農経営収支が改善されない現状のなか、国・県・市町による飼料価格への補填、乳製品在庫削減対策、JA独自支援の「生乳生産規模拡大奨励」や「酪農経営緊急支援」継続実施を行いました。また、酪農家向け乳質改善研修会及び島根県酪農協議会新委員向けの生乳流通研修会等を開催し、酪農指導、情報提供等に取り組みました。

肥料・農薬については、肥料統一銘柄8品目、農薬統一銘柄7品目を継続して選定し、品目集約による価格低減を図り、組合員へ還元しました。また、価格低減となる担い手直送超大型規格農薬をTAC及び営農指導員を中心として普及拡大に努め、コスト低減の推進に取り組みました。

株式会社ジュンテンドーとの販売業務連携(JA商品の取り扱い)状況については、3月末現在7店舗連携済みで、次年度連携予定店舗が3店舗となっています。次年度予定の店舗連携により、管内にジュンテンドー店舗がある地区本部の全てが連携します。今後とも継続して連携店舗拡大を推進します。

農機事業は、生産コスト低減取り組みとして共同購入コンバインの普及拡大を実施しました。

信用事業は、「金利のある世界」の回帰による預貯金獲得競争が激しさを増すなか、総合事業の特性を生かし、夏には「金利」と「農畜産物」を特典としたキャンペーン、秋には農畜産物販売代金を対象とした「国消国産応援定期貯金」を実施し、個人貯金の増強と農畜産物の消費拡大及び農家所得の向上に取り組みました。農業融資については、エネルギー価格及び飼料・肥料等の物価高騰対策として、「令和7年度エネルギー価格・物価高騰等対策資金(県制度資金)」の取り扱いにより、農業経営の維持安定に向けた支援に取り組みました。さらに、地域農業を支える農業メインバンクとして積極的に農家・組合員のもとへ出向き、農林中金と連携した「担い手コンサルティング」及び「事業承継セミナー」など、農業者の経営課題解決に取り組みました。

共済事業は、対面接点やデジタル技術を活用した接点づくりに取り組み、3Q活動を起点とした情報提供活動を展開しました。また、「JAしまねこども倶楽部」を通じた子育て支援や次世代との繋がりがづくりに取り組みました。

くらしの活動では、豊かなくらし・地域づくりを目的とし、「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱に地域活性化に取り組みました。また、家の光・日本農業新聞等の教育資材を活用した研修や学習活動を実施しました。

こうした取り組みの結果、販売品販売・取扱高が417億7百万円、購買品供給高が295億76百万円、貯金残高が9,867億13百万円、貸出金残高が2,919億57百万円、長期共済保有高2兆5,480億25百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13.82%となりました。

収支面については、農林中央金庫の無配当に加え、金利の引き上げにより貯金費用が増大したことや共済事業における付加収入の減少の影響もあり、大変厳しい状況となりました。

しかし、これまでの営農経済事業改革や店舗再編等の信用共済事業改革に取り組んできた成果もあり、事業利益11億10百万円(前年度比+3億45百万円)、当期剰余金9億86百万円(同+1億29百万円)を計上することができ、全地区本部とも黒字を確保することができました。

なお、取崩基準に基づく目的積立金の取崩しを行い、当期末未処分剰余金は21億61百万円となりました。

財務・事業成績の推移

（単位：百万円）

区分	項目	第9事業年度 (令和4年度)	第10事業年度 (令和5年度)	第11事業年度 (令和6年度)	第12事業年度 (令和7年度)
財 務	事業利益	235	713	764	1,110
	経常利益	1,605	2,054	1,532	1,749
	当期剰余金	822	1,372	857	986
	総資産	1,114,893	1,114,046	1,105,829	1,098,381
	純資産	76,196	78,814	75,482	75,486
信用事業	貯金	1,009,874	1,000,674	988,694	986,713
	預金	553,660	555,575	555,471	536,852
	貸出金	281,939	290,992	290,098	291,957
	有価証券	143,308	135,302	117,912	122,349
	国 債	52,945	48,354	46,843	45,629
	その他	90,363	86,947	71,069	76,719
共済事業	長期共済保有高	2,905,921	2,772,491	2,652,979	2,548,025
	短期共済新契約掛金	8,951	8,709	8,717	8,972
購買事業	購買品供給高	33,018	31,738	30,107	29,576
販売事業	販売品販売・取扱高	38,042	39,020	39,826	41,707

（注1）貯金は譲渡性貯金を含む。

（注2）購買品供給高及び販売品販売高は総額で記載しており、損益計算書における金額とは一致しません。

単体自己資本比率

当組合の単体自己資本比率 13.82%（令和8年3月31日現在）

部門別損益計算書 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位: 千円)

区分	計	信用事業	共済事業	農業関連事業	生活 その他事業	営農指導 事業	共通管理 費等
事業収益 ①	64,321,387	12,350,898	6,341,299	24,265,808	21,015,516	347,865	
事業費用 ②	41,212,927	4,208,422	650,597	20,303,829	15,593,469	456,608	
事業総利益 (① - ②) ③	23,108,460	8,142,475	5,690,701	3,961,978	5,422,047	▲ 108,743	
事業管理費 ④	21,998,441	6,229,083	3,601,366	5,353,800	5,613,173	1,201,017	
(うち減価償却費 ⑤)	(1,722,862)	(272,741)	(98,897)	(804,872)	(477,935)	(68,416)	
(うち人件費 ⑤')	(13,718,381)	(3,738,064)	(2,897,446)	(2,717,927)	(3,404,067)	(960,874)	
※うち共通管理費⑥		1,515,718	803,627	1,240,102	1,237,707	162,915	▲ 4,960,071
(うち減価償却費 ⑦)		(111,109)	(58,909)	(90,905)	(90,729)	(11,942)	(▲ 363,596)
(うち人件費 ⑦')		(605,658)	(321,117)	(495,526)	(494,569)	(65,098)	(▲ 1,981,971)
事業利益 (③ - ④) ⑧	1,110,019	1,913,392	2,089,335	▲ 1,391,821	▲ 191,126	▲ 1,309,760	
事業外収益 ⑨	1,154,646	319,516	178,895	319,871	300,237	36,125	
※うち共通部分 ⑩		316,421	167,765	258,883	258,383	34,010	▲ 1,035,464
事業外費用 ⑪	514,802	150,008	79,339	137,238	132,132	16,084	
※うち共通部分 ⑫		149,641	79,339	122,431	122,174	16,084	▲ 489,690
経常利益 (⑧ + ⑨ - ⑪) ⑬	1,749,862	2,082,899	2,188,891	▲ 1,209,188	▲ 23,020	▲ 1,289,719	
特別利益 ⑭	822,953	249,687	132,383	209,436	203,889	27,557	
※うち共通部分 ⑮		249,687	132,383	204,284	203,889	26,837	▲ 817,081
特別損失 ⑯	1,200,060	364,721	193,373	300,691	299,225	42,048	
※うち共通部分 ⑰		364,721	193,373	298,401	297,824	39,201	▲ 1,193,523
税引前当期利益 (⑬ + ⑭ - ⑯) ⑱	1,372,755	1,967,865	2,127,900	▲ 1,300,443	▲ 118,356	▲ 1,304,210	
営農指導事業分配賦額 ⑲		391,725	322,861	274,307	315,316	▲ 1,304,210	
営農指導事業分配賦後 税引前当期利益 ⑳	1,372,755	1,576,139	1,805,038	▲ 1,574,750	▲ 433,672		

(注) 1. 共通管理費等及び営農指導事業の他部門への配賦基準等

(1) 共通管理費等

「人頭割 (1 / 3) + 共通管理費配賦前の人件費を除いた事業管理費割 (1 / 3) + 事業総利益割 (1 / 3)」

(2) 営農指導事業

「均等割 (1 / 2) + 事業総利益割 (1 / 2)」

2. 配賦割合 (1. の配賦基準で算出した配賦の割合)

(単位: %)

区分	信用事業	共済事業	農業関連事業	生活その他事業	営農指導事業	計
共通管理費等	30.56%	16.20%	25.00%	24.95%	3.28%	100.00%
営農指導事業	30.04%	24.76%	21.03%	24.18%		100.00%

組織の概要

組合員の状況

① 組合員の数

(単位：組合員数)

資格区分			前期末	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	個人		53,884	383	2,234	52,033
	法人	農事組合法人	255	2	2	255
		その他の法人	284	11	6	289
	計		54,423	396	2,242	52,577
准組合員	個人		149,523	1,922	4,873	146,572
	農業協同組合		－	－	－	－
	農事組合法人		15	－	－	15
	その他の団体		1,634	14	86	1,562
	計		151,172	1,936	4,959	148,149
合計			205,595	2,332	7,201	200,726
備考						

② 出資口数

(単位：口)

資格区分			当期首	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	個人		14,143,228	130,315	647,985	13,625,558
	法人	農事組合法人	28,623	19	129	28,513
		その他の法人	17,723	558	53	18,228
	計		14,189,574	130,892	648,167	13,672,299
准組合員	個人		5,659,149	126,451	419,156	5,366,444
	農業協同組合		－	－	－	－
	農事組合法人		1,489	－	－	1,489
	その他の団体		69,684	90	4,294	65,480
	計		5,730,322	126,541	423,450	5,433,413
処分未済持分			202,797	278,311	202,797	278,311
合計			20,122,693	535,744	1,274,414	19,384,023

摘要：（１）出資一口金額 1,000 円

（２）当期末払込済出資総額 19,384,023,000 円

役員の状況

(単位:人)

区 分		当 期 末
理事	常 勤	17
	非 常 勤	23
	計	40
監事	常 勤	2
	非 常 勤	4
	計	6
合 計		46

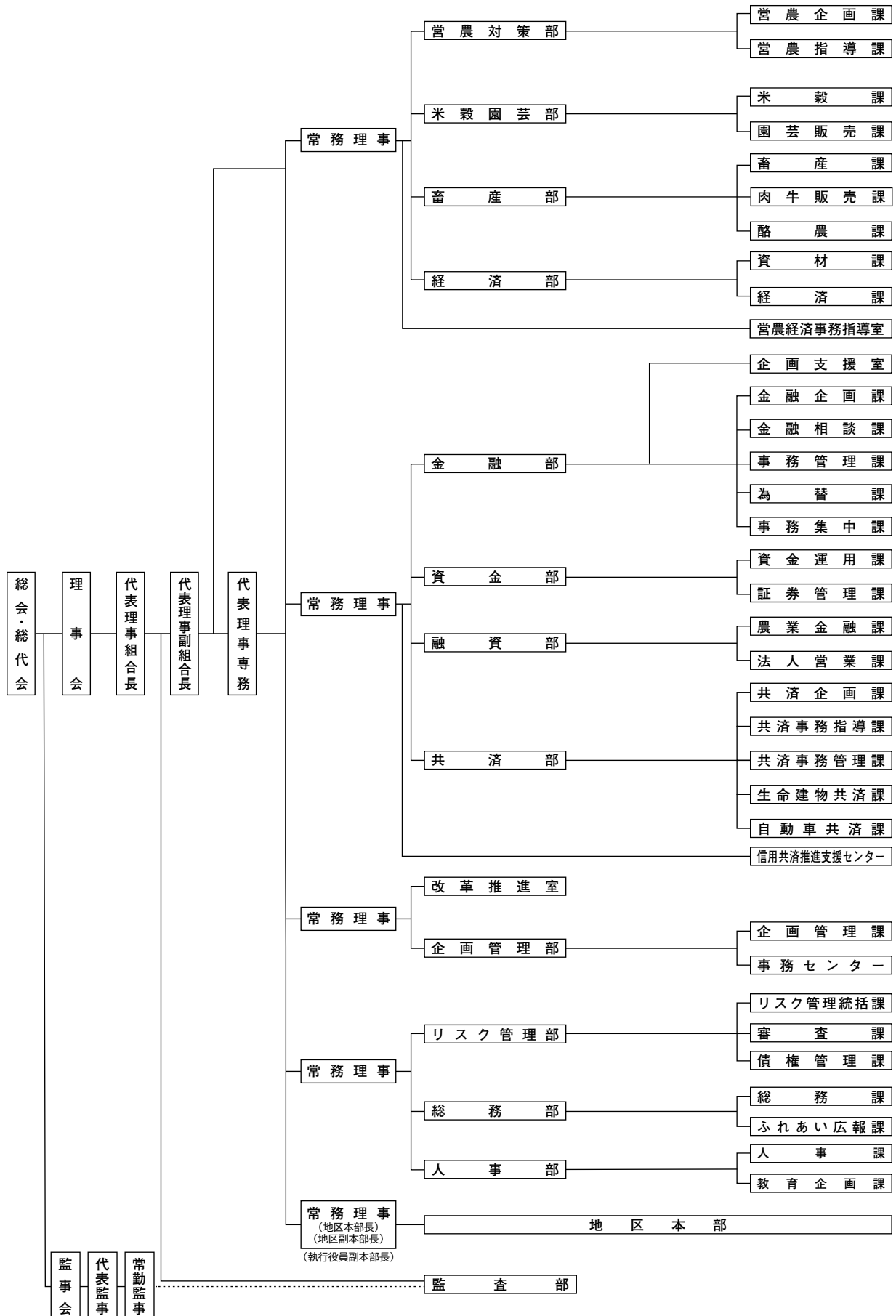
職員の状況

(単位:人)

区 分	前 期 末	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末
参 事	—	—	—	—
正 職 員	1,485	44	151	1,378
有期雇用・パートタイム職員	1,164	83	161	1,086
計	2,649	127	312	2,464

組織の構成（組合の機構）

令和8年3月31日現在



JAしまね 出雲地区本部

第12事業年度 事業報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

事業の概況

令和7年度 事業活動の内容

令和7年度 営農センター活動報告

損益の状況

事業別の明細

組織の概要

組合員の状況(組合員数、出資口数)

組合員数・戸数一覧表

理事・地区本部運営委員の状況

職員の状況

組合員組織

機構図



JAしまね 出雲地区本部

事業の概況

事業活動の概況に関する事項

「第4次中期経営計画」および「第4次農業戦略実践3ヵ年営農計画」の初年度としてJAしまねのめざす姿として掲げる「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」の実現に取り組みました。

農業関連では、担い手不足や資材価格の高止まりに加え、気候変動に伴う高温障害や病害虫被害など、農業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。このような中、各種支援事業の活用等を通じて、生産者の経営安定と地域農業の振興に努めました。

地域貢献活動では、小学校での食農体験や中学校での自転車交通安全教室、出雲市へのカーブミラーの贈呈などに取り組みました。また、女性部・やすらぎ会の活動とも連携し、地域の活性化に努めました。

令和7年度の業績還元では、各地区農業まつりへの助成、営農支援としての肥料価格高騰対策、畜産消費拡大対策および通信アプリ「デイワーク」等の普及拡大対策、グリーンセンターでの正組合員感謝セール、ラピタでの米価格高騰対策としての家計応援セールなど各種セールの実施やガソリン値引券の配布、年金受給者の皆様への粗品プレゼントを行い、組合員・利用者へ1,800万円を還元しました。

①営農指導事業

国・県等の補助事業に加え、出雲農業未来の懸け橋事業やJAしまね農業振興支援事業等を活用し、生産者の経営安定に努めました。また、情報発信ツールである「JAコネクト」や1日農業バイトアプリ「デイワーク」のPRに努め、デジタル化の普及拡大に取り組みました。

高温傾向が続く気象状況への対策として、水稻の新品種の試験栽培を開始しました。また、農産物の安全・安心対策として、農薬の適正使用の啓発活動や、「美味しまね認証ゴールド」の継続および新規取得に向けて支援活動を実施しました。

米穀では、米集荷拡大に向け、引き続き倉庫大口奨励やカントリー利用奨励などを実施し、前年対比102%の集荷実績となりました。

最大の特産品目であるぶどうでは、生産者・行政と連携し、出雲市浜町にぶどう団地を整備しました。

畜産では、第13回全国和牛能力共進会(令和9年8月開催)に向けて、肉牛出品候補牛の生産を目的に、いずも和牛改良組合と連携し、85頭に受精卵を移植しました。その結果、29頭が出生し17頭が候補牛として確定しています。また、10月に開催された第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会では、管内から3頭が出品され内1頭が島根県代表として過去最高位の優等賞3席に入賞しました。

②購買事業

生産購買事業では、資材コスト低減を目的に品目集約や業績還元を活用し、予約肥料の主要銘柄について価格引き下げを実施しました。また、グリーンセンター店舗において、正組合員感謝セールを開催し、組合員への還元に努めました。さらに、TACと連携し営農組織や担い手農家に対して、スケールメリットを活かした肥料の大型車直送や農薬の大型規格品の推進を行い、コスト削減に取り組みました。加えて、ミニアグリミーティングを開催し、来場者に対して新技術の紹

介や作業効率化、労力軽減につながる資材の提案を行いました。

ラピタでは地産地消を基本とし、「安全・安心・新鮮」な商品提供を目指し、ラピタ農産物直売所やJA女性部と連携し、魅力ある店舗づくりに努めました。2月には9年ぶりにレジシステムを刷新し、お客様の利便性向上と業務の効率化を図りました。また、次世代層の来店・利用拡大に向け、子ども向け室内遊園地の新設やラピタアプリ、SNSを活用したラピタの情報発信に積極的に取り組みました。

葬祭事業では家族葬や小規模葬をはじめとする多様な葬祭ニーズに寄り添い、地域から信頼される葬祭事業の展開を図りました。

LPガス事業では、ガス機器リースの普及と他燃料からの燃料転換に取り組むとともに、ガス集中監視システムの計画的な更新を通じて、安全性確保と供給体制の強化を図りました。

石油事業では、「県下統一GOGOグルメキャンペーン」や「お年玉キャンペーン」等、様々なキャンペーンを展開し、利用者の満足度向上に取り組みました。

自動車事業では、各種ディーラー協賛や、ラピタセンターコートでのセニアカーの試乗会、JA全農島根農機サポート(株)との協賛による夏・春の農機展示会で自動車展示を行い、営業活動に努めました。

③販売事業

販売単価向上に向けて、従来の市場取引を優先しながらも、しいたけ、ぶどう、アスパラガス等の農産物の輸出拡大に取り組みました。直販では、大手百貨店をはじめ、これまで青果物の出荷実績の少ない関東圏への販路を再構築したほか、加工用ぶどうの新規取引の獲得等、販売力の強化に取り組みました。

④信用事業

魅力的な金融サービスを提供するため、『国消国産応援定期貯金』や『定期貯金キャンペーン』などの企画定期貯金のPR活動を積極的に行い、安定的な貯金の確保に取り組みました。

さらに、年金相談会を17会場(うち土曜日10会場)で開催するとともに、年金受給者へラピタのお買物券を配付するなど、利用者の満足度向上に取り組みました。

また、農業融資担当者・支店・営農担当部署との事業間連携を強化し、農業者へ各種農業制度資金の情報提供やニーズに応じた相談活動を実施するとともに、新規就農者や地域農業の担い手に対するJAバンク利子補給等、総合事業の強みを活かした農業融資推進の強化に取り組みました。

あわせて、ローン営業センターを中心に住宅メーカー等との関係構築に努め、住宅ローンなど個人貸出金の伸長に取り組みました。

⑤共済事業

各支店では、「つながる“絆”活動」の一環として、それぞれの「目指す支店像」を定め、その実現に向けて支店職員が一体となり、来店者対応の充実や3Q活動によるJA共済のお知らせ活動に取り組みました。

また、自動車共済においては、共済掛金の優位性を活かした「ATK(愛車点検活動)キャンペーン」を展開し、未加入車両へのアプローチや世帯内自動車保障の加入状況確認を実施するなど、新規契約の伸長に取り組みました。損害調査サービスでは、事故受付・現場急行の際に親切・丁寧な対応を心掛け、利用者満足度の向上に取り組みました。

令和7年度 事業活動の内容

区分	実 施 事 項	目 標 値(令和7年度)		取組結果 実績値
		指 標	数 値	
営 農 ・ 農 業 振 興	1. 新規就農者と地域の担い手の育成支援			
	(1)関係機関と連携して、新規就農者の確保・育成	認定新規就農者	5名	8名
	(2)関係機関と連携した、新たな担い手の確保・育成	新規認定農業者	7名	11名
	(3)「地区担い手育成ビジョン」に基づいた営農組合設立・協業化・法人化支援	組織化 協業化 法人化	1件	0件 1件 1件
	2. 農畜産物振興			
	(1)つや姫・きぬむすめへの品種誘導	作付面積	つや姫 170ha きぬむすめ 1,405ha	つや姫 179ha きぬむすめ 1,413ha
	(2)園芸産地の拡大と農家所得の最大化	特産販売目標	36億8,700万円	36億1,300万円
	(3)各種補助事業活用による新規生産者及び既存生産者の規模拡大	ぶどう 菌床しいたけ アスパラガス	16億円 4億7,000万円 9,800万円	15億9,800万円 4億4,000万円 9,700万円
	(4)ラピタ農産物直売会の新規会員獲得と売場活性化及び市内関係直売所(直販野菜)との連携強化による直売事業の拡大	直売事業 うちラピタ産直 うち直販野菜	5億4,800万円 3億4,000万円 2億800万円	3億9,600万円 3億1,300万円 8,300万円
	(5)畜産経営新規就農支援及び後継者を中心とした規模拡大支援	畜産販売目標	30億3,300万円	32億6,200万円
	(6)美味しmane認証取得品目の拡大	新規認証取得		新規認証取得 13名
	3. 営農指導の充実・強化			
	(1)営農指導員の資質向上	ニューフェイス研修 スペシャリスト研修 生育調査 坪刈り調査	ニューフェイス研修:4回 スペシャリスト研修:5回 生育調査:5回 坪刈り調査:4回	ニューフェイス研修:4回 スペシャリスト研修:4回 生育調査:5回 坪刈り調査:4回
	(2)若手営農担当者を中心に水稻展示圃での生育調査に併せ、スキルアップと現場対応力の強化			
	(3)「出向く営農指導」体制強化 組合員ニーズの把握と提案活動による組合員満足度の向上	訪問先 訪問回数	180経営体 3,600回	150経営体 3,021回
く ら し の 活 動	1. くらしの活動による組合員・地域住民の総合的な支援			
	(1)女性部員の高齢化による後継者対策として若手役員登用により新たな体制づくりの支援とフレッシュミズ活動の充実によりアクティブメンバーシップの強化を図る	開催数	フレッシュミズ 活動5回以上	開催数:4回 部員数:27名
	(2)「いずもJA女子大学」並びに「いずもJAシニア女子大学みずき」の講座開講の支援を行い、自分磨きのお手伝いを通じた受講生・地域住民への貢献	両女子大学の 支援・運営	—	「いずもJA女子大学」 特別講座開催 (計4回 受講生28名) 「いずもJAシニア女子大学みずき」開催 (第5期 受講生28名)

区分	実施事項	目標値(令和7年度)		取組結果 実績値
		指標	数値	
く ら し の 活 動	(3)「農業まつり」「来店感謝デー」等、組合員・地域住民との交流の場づくりの実施・支援	開催店舗数	全支店の実施	農業まつりを32か所で開催 信用事業と連携し、来店感謝デーにて女性部のおもてなし活動を全支店実施
	(4)広報誌、SNS、支店だより等を活用した情報発信の強化	発行(掲載)数	ホームページ 月2件以上掲載、 支店だよりの発行	・広報誌しまねびより 19,000部発行/月 ・支店だより 各支店が作成し外勤日にて配布 ・ホームページを年間15回更新し、管内のイベントなどの情報を発信
	(5)「家の光」、「地上」、「ちゃぐりん」と日本農業新聞をJA役職員と組合員・地域住民をつなぐ教育資材と位置づけた、計画的な普及運動の展開	普及率	家の光三誌 普及率:28.6% 日本農業新聞 普及率:10.0%	・家の光三誌 普及率:29.1% ・日本農業新聞 普及率:9.4%
	2. 「助け合い」を基軸とした地域貢献活動の展開			
	(1)助け合い組織「出雲やすらぎ会」を中心に地域でのミニデイサービス、声かけ訪問、ボランティア活動の実施と支援	各地区にて継続実施	—	・ボランティア活動 56回 延べ573名参加 ・ミニデイサービス 68回 延べ1,179名参加
信 用 事 業	(2)フードロス削減や地域の将来を担う子どもたちの健全な育成のため「こども食堂」「フードバンク」等への支援	社協等との連携強化を図り支援実施	—	米一握り運動を実施 社協・こども食堂に寄贈 出雲市社会福祉センターにおいて「フードドライブ」が開催され各地区からお米や野菜を寄贈
	3. 食と農を基軸とした活動と地産地消への取り組み			
	(1)こども達や次世代に対して食農教育活動を実施	実施数	年間を通じて食農体験学習の実施	各地区での開催 食農教育活動28回開催
	(2)食・農・暮らしに役立つ教室を開催し、地域住民の健康で安心な暮らしを支援	実施数	年間を通じて食農体験学習の実施	お役立ち教室を5回開催
	4. 健康長寿を目指した健康管理活動の実施			
信 用 事 業	(1)地域組合員を対象とした組合員健康診断、巡回人間ドックの実施	実施会場数	5会場	13日間、5会場実施 延べ401名受診
	(2)農業者等を対象とした担い手ドック、農業者・女性部健診の実施	実施日数	担い手ドック9回、 農業者女性部健診4回実施	・担い手ドック 9日間実施 延べ353名受診 ・農業者・女性部健診 4日間実施 延べ252名受診
	1. 農業メインバンク機能の強化			
信 用 事 業	(1)地域農業を支えるメインバンクとして、資金ニーズの把握及び質の高い金融サービスの提供による「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への貢献と農業融資の伸長	農業融資 新規実行額	4億8,000万円	3億5,700万円

区分	実施事項	目標値(令和7年度)		取組結果実績値
		指標	数値	
信用事業	(2)総合事業の強みを発揮し、営農部門との連携強化	継続実施	—	TACミーティング等、営農関係会議に参加し営農担当部署との情報共有を図り資金ニーズを収集し、制度資金等の幅広い相談活動を実施
	2. 生活メインバンク機能の強化			
	(1)組合員・利用者への情報提供等により住宅ローン等の新規利用者の拡大	個人貸出金平残	541億円	567億円
	(2)相続及び資産相談への迅速かつ的確な対応による利用者満足度の向上。また、農地利活用にに関する対応・相談・助言の継続的展開を可能とする体制の確立及び人材育成	継続実施	—	相続相談・農地利活用の相談助言を実施 相続相談業務トレーニーへ1名派遣
	(3)魅力的な金融サービス・商品の提供や年金・給与振込のJAでの受取増加による個人の預かり資産の増強	個人貯金平残	2,220億円	2,144億円
	(4)次世代層との関係構築・強化のため、非対面取引を含めた様々なチャネルを活用した複合取引の拡大	継続実施	—	個人インターネットバンキング 新規契約件数1,751件
	3. 利用者保護と地域貢献			
	(1)組合員・利用者に寄り添った対応及び迅速かつ正確な事務運営	継続実施	—	事務堅確の徹底により、迅速かつ正確な事務処理を実施
	(2)多様化する特殊詐欺防止に向けた職員の金融機能不正利用防止意識の更なる向上	継続実施	—	定期的に防犯関係の通知文書を支店に送付し、防犯意識の向上に努めた 特殊詐欺の未然防止1件
	(3)出雲市指定金融機関としてのサービス向上、各種協賛を通じた地域貢献	継続実施	—	出雲市出納室と出雲市役所支店の連携及び支店窓口での確実な収納事務により、指定金融機関としての業務を遂行
	4. 業務基盤強化			
	(1)店舗事務全般について事務堅確性向上	自主検査の徹底	—	各支店で計画的な自主検査を徹底し、信用事業における事務堅確性のさらなる向上を図った
	(2)業務体制整備による効率的な事業運営の構築	継続実施	—	窓口専用のタブレットを全支店に導入し、組合員・利用者の利便性向上を図った
共済事業	1. 「ひと・いえくるま・農業」の総合保障による万全な保障の提供			
	(1)組合員・利用者一人ひとりに寄り添ったフォロー活動(3Q活動)を通じてきめ細やかな保障点検や「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスが取れた総合的保障を提供し、安心と満足の実現	3Q活動実施	35,100名以上	38,613名

区分	実施事項	目標値(令和7年度)		取組結果 実績値
		指標	数値	
共 済 事 業	(2)農業リスク診断活動を通じてJA共済の優位性を含めた情報提供を実施し、未保障農業用自動車の解消と保障充足率の向上、担い手経営体の不安解消	農業用車両 自動車共済新規	58件以上	45件
	2. 選ばれ続けるJA・JA共済を目指した取組み			
	(1)組合員・利用者への万全なくま保障の提供と、未保障自動車の解消	自動車共済 新規件数前年比	106%以上	108%
	(2)子育て支援・次世代対策の一環として実施する「JAしまねこども倶楽部」を通じた、接点強化と関係性強化による新たな仲間づくり	こども倶楽部 新規会員数	200名以上	99名
	3. 非対面手続きによる契約者の利便性向上と事故時における満足度向上			
	(1)WEBやアプリを活用した、「いつでも・どこでも・望む方法」による非対面手続きの拡充に取組み、組合員・利用者の利便性向上と、有事の際に組合員・利用者へスムーズな連絡・共済金請求を目的としたサービスの提供	WEBマイページ 登録件数	1,370件以上	3,461件
購 買 事 業 （ 生 活 部）	(2)JA自動車共済契約者対応担当者(愛称:安心サポーター)を中心として、契約者へ寄り添う姿勢のもと、「身近で安心なJA共済」の特徴を活かした自動車損害調査の実践	満足度 (事故連絡時・ 現場急行時)	97.0%以上	事故連絡時:96.98% 現場急行時:96.60%
	1. 財務基盤の強化と機能的な店舗運営			
	(1)店舗規模や地域特性に応じた店舗展開	店舗購買品 供給高	94億8,500万円	90億1,800万円
	(2)ラピタ各店舗の収支改善			
	(3)施設の計画的な改修・更新や新規テナント誘致			
	2. JA店舗の強みを生かした売場づくり			
	(1)各組織団体(生活購買運営委員、女性部等)との積極的な意見交換による売場の改善	生活購買運営 委員会の開催	4回	生活購買 運営委員会の開催(3回)
	(2)地産地消を基本とし、生産部会や協栄会(ラピタ納入業者組織)等と連携した地元産品の推進	地元産品を拡販する イベント等の開催	—	地域店舗の魅力をPRするため ラピタフェスなどを年2回開催 (5月、10月)
	3. 職員教育強化によるサービスの向上や業務の効率化・改善			
	(1)内部研修や農協流通研究所、AJS(オール日本スーパーマーケット協会)などの外部講習会を活用した職員教育の充実	計画的な 教育研修の実施	—	AJS作業改善講座 2回受講 農流研 店舗資格試験 4名受験
(2)機構改革や各種システム導入等による、業務の効率化や改善、労働生産性の向上	継続的な改善施策 の検討・実施	—	レジシステム更新 (セミセルフ、フルセルフ導入)	

区分	実施事項	目標値(令和7年度)		取組結果実績値
		指標	数値	
購買事業(生活部)	4. 葬祭事業のサービス向上・充実			
	(1)利用者の多岐に渡るニーズに応じた葬儀を提案するとともに法要ギフトの提案等、「アフター葬儀」の取り組みによる満足度向上	葬儀施行件数 シェア	1,000 件以上 60 %以上	葬儀施行件数869件 葬儀施行シェア54.5%
	(2)多様化する葬儀ニーズに対応した、適切なメモリア会館の改修、整備、維持			
	(3)地元ケーブルテレビCMを活用した、PRを積極的に行うなど、JA葬祭事業の施行シェアを維持向上			
購買事業(自動車燃料部)	1. 「安全・安心・快適」な自動車燃料事業の展開と基盤の確立			
	(1)リース契約によるガス機器販売でのガス供給先の長期確保	集中監視システムの無線化	600件	433件
	(2)低コスト広範囲の通信機器の導入による業務効率化と保安の確保			
	(3)給油所の運営体制の強化と収支改善	燃料油供給数量	13,500kl	12,993kl
	(4)石油施設の保守修繕と安全管理の強化			
	(5)各種キャンペーンの実施による組合員・利用者満足度向上に向けた取り組み強化	車販売台数 (新車・中古車)	235台	177台
	(6)多様な利用者ニーズに応じた、車両販売メニューの提案・JA内各事業との連携の強化と新たな車両購入メニューの提案・構築			
地区本部運営	1. 経営基盤強化			
	(1)地区本部業務のスリム化及び効率化を踏まえた収支改善 ◆『業務・事業改革断行』	①業務改革断行 ②事務集約化による管理費削減 ③人員の適正配置	—	事務管理費の削減と業務効率化を目的に機構改革を実施
	(2)経営基盤強化のための組織再編・機構改革 ～支店再編と会館機能の見直し～	①大社地区1支店化に向けた検討 ②遊休資産解消に向けた検討・実施 ③ブロック再編検討	—	①大社地区1支店化準備実施 ②上津会館処分に向けた検討・実施 ③ブロック再編検討
	2. 組織基盤強化			
	(1)不祥事再発防止に向けたコンプライアンス遵守態勢の強化 ◆『不祥事未然防止対策の実践』	①コンプラ研修とコンプラマニュアルの読み合わせ実施 ②実効性ある自主検査の実施 ③連続職場離脱の実施	—	①コンプライアンスマニュアルの読み合わせを月2回以上、各部署にて実施 ②全部署において毎月自主検査を実施し、事務処理水準の向上に取り組んだ ③連続職場離脱の実施(対象者679名100%実施)

令和7年度 営農センター 活動報告

中部営農センター

(1)生産コスト削減に向け、生産資材の車取りや大型規格の提案に取り組むほか、土壌分析による適正施肥の提案を行う等、農業所得の維持拡大に取り組みました。

○生産資材供給実績(大口取引)

	実績
グリーンソイル20kg袋	1,580袋
1tフレコン	27本
500kgフレコン	46本
水稻肥料	5,252袋
改良材 200kgフレコン	183本
20kg袋	1,839袋
農薬(大型規格40kg)	135袋

○土壌分析による適正施肥の提案

	実績
土壌分析数	農産 33点
	特産 10点

(2)地域別、品目別の栽培技術の確立や課題解決に向け、農業指導センターとの連携による実証試験等、生産性の向上に取り組みました。

○水稻肥料・除草剤を使用した展示圃及び実証試験の設置

環境保全型一発肥料試験

○高温対策として品質向上、安定生産、土づくり肥料の試験

肥料試験 食味品質向上試験

つや姫高品質栽培試験、つや姫食味向上試験、安定生産技術(直播栽培りもみん)試験、つや姫ふりかけ堆肥試験

○ブロックリー栽培拡大に向けた推進活動

新規取組に向けた説明会の開催

(3)地区担い手協議会と連携し効率的な農地活用を進め、担い手法人・集落営農組織の運営支援に取り組みました。

○地区担い手協議会(8地区)を開催し、委託予定農地の確認と今後の方針確認

○担い手の規模拡大に向けた集積支援

○法人・集落営農組織内の担い手育成支援として大型免許取得支援

受講・免許取得者 4名

(4)良質米生産に向けた各種研修会を開催し、情報提供を迅速に行う等、安全・安心な米づくりを進めました。また、出向く営農指導活動に取り組み、積極的に現場や組合員宅へ出向きました。

○栽培講習会の適時開催

水稻防除暦説明会 1回 水稻育苗講習会 1回

水稻青空座談会 14回(7会場×2回) 適期稲刈り講習会 1回

○迅速かつタイムリーな「出向く営農相談・指導」の実施

TAC活動 訪問件数 298戸 相談・指導・提案数 625件

(5)農業体験を通じて地域交流を図り、魅力ある農業の情報発信に努めました。

○中部ブロック園芸教室の開催(年間4回開催)

○ラピタ直売会会員の拡大 会員数107名

○女性部と協賛し家庭野菜栽培講習会の開催

川跡地区 2回 上津地区 1回

東部営農センター

(1) ブロッコリーの産地拡大を図るため、各関係機関と連携して生産振興に取り組みました。

- 面積拡大 10ha
- 機能性農産物スーパーブロッコリー(出雲フォルテ)の取り組み 4.7ha
- 作期拡大に向けた被覆資材の実証試験を実施

(2) 令和5年版「ひらたの柿産地活性化プラン」を実践し、三本柱である「所得の向上」「担い手の育成」「生産方法の改善」により産地拡大を目指しました。春先の凍霜害により以下の結果となりました。

- 販売額 1億5,200万円
- 加工製品個数 32.3万個

(3) 宍道湖西岸国営事業に係る営農計画の実践に向け、宍道湖西岸サポートセンター、営農組織、担い手および関係機関と連携し取り組みました。

- ブロッコリー栽培の推進(西岸地区) 15.5ha
- 大豆栽培の実践 13.6ha
- 玉ねぎ栽培の安定化及び販路の確立 5.3ha(玉ねぎ調製施設の活用)
- 小豆栽培の実践 5.5ha

(4) 農産物の生産性を向上させるため、関係機関と連携し、実証圃の設置と普及に努めました。

- ブロッコリー:耐暑性品種の作期拡大試験の実施
- 青ネギ:天井中央部遮光試験の実施
- 玉ねぎ:機械化体系、栽培技術等の試験栽培の実施

(5) 地域農業の活性化のため、後継者や新規農業者の育成に取り組みました。

- 水田園芸作物の推進活動
- 野菜作り講習会の開催(7回)
- ラピタ直売会の加入促進(新規10名)

西部営農センター

(1) 良質米生産、コスト削減に向けた取り組みを行いました。

- 各種講習会の開催
 - ・青空座談会 2会場(6月)、5会場(7月)
 - ・水稲育苗講習会 1会場
 - ・水稲防除暦説明会 1会場
 - ・適期刈取講習会 2会場
- タイムリーな栽培情報提供
 - ・毎月発行の営農だより
 - ・グリーンセンター大社に水稲栽培のポイントの掲示
- 土壌分析による適正施肥の提案
 - ・土壌分析数 45点

(2) 『出雲ぶどう産地再生プラン』を実践し、産地再興の実践に向け取り組みました。

- 令和8年3月に高松地区浜町新ぶどう団地(110a、10棟)を竣工し、新規就農者3経営体を受け入れました。
- 長浜地区ぶどうの新植圃場整備に向け、地元の各団体及び関係機関と協議を開始しました。
- カーボンニュートラルの取り組みとして、ヒートポンプの導入を1件行いました。
- 令和7年産販売実績

デラウェア	出荷量591t	販売高9億7,223万円
シャインマスカット	出荷量220t	販売高5億5,750万円
神 紅	出荷量 5.8t	販売高 3,154万円

(3) JAしまね推進作物の栽培面積の拡大と販売高の向上に取り組みました。

○菌床生しいたけ

栽培菌床数 15万3千菌床 販売実績 1億1,978万円

○アスパラガス

栽培面積 4.6ha 販売実績 6,891万円

(4) 「年金+α農業のすすめ」としての園芸教室や、食や農業への関心を深めるための食農活動を通じ、魅力ある農業の情報発信に努めました。

○園芸教室 野菜果樹教室 3回開催

○食育活動 米づくり体験(小学校) 3校

野菜づくり体験(幼稚園・小学校) 3校

ぶどう体験(小学校) 10校

河南宮農センター

(1) 地域ブランド製品の生産維持・拡大に取り組みました。

「多伎いちじく」では地域おこし協力隊と連携し、将来的なUIターン就農者確保を目的とし、収穫サポーター募集を行いました。

○収穫サポーター 延べ45名(期間9月～10月)

「西浜いも」観光いも掘り農園は、手軽なレジャーとして定着し盛況でしたが、天候の悪い日が続いたことから集客数が減少しました。

○観光いも掘り農園：販売区画数 432区画(前年558区画)

(2) 地域特産振興として、新規生産者の確保や面積拡大、生産技術の向上など生産部会や関係機関と連携し安定出荷に取り組みました。

「多伎いちじく」「神門梨」「西浜いも」は降雨量不足、記録的な猛暑で小ぶりとなり出荷量、販売高に影響を受けました。

「きゅうり」は、栽培面積は若干減少したものの出荷量が安定的に続いたことから、平均単価も高く推移し、2年続けて販売高1億円を突破しました。

○多伎いちじく 販売実績 7,095万円 ○神門梨 販売実績 94万円

○きゅうり 販売実績 10,247万円 ○西浜いも 販売実績 2,108万円

(3) 「年金+α農業のすすめ」として、「河南ブロック農業入門講座」を開催し、ラピタ直売会への新規加入など新たな農業者の養成・販売農家の育成に努めました。

○農業講座開講回数：3回 ○受講者数：30名 ○直売会新規加入者：6名

(4) 農産加工事業については、加工原料の出荷数量が38.3tと昨年を上回りましたが、令和6年に販売先・販売数量を制限した影響などにより、当年の受注が伸びず、販売高が減少しました。

○加工製品販売高：3,046万円

南部営農センター

(1) 営農組合や担い手農家との連携を強化するため、新たな取り組みとして肥料農薬メーカーを講師として迎え、水稻の栽培研修会を開催しました。また、地域の現状を認識し、今後の農業を考える場として地域計画会議を開催しました。

○南部ブロック水稻農家研修会開催 1回

○地域計画会議

佐田地区(西須佐・東須佐)、(八幡原・窪田)

朝山・乙立地区、稗原地区

(2) 優良雌牛の導入や更新による優良子牛の生産に取り組むとともに、耕畜連携によるWCSの安定供給のため、耕種農家の生産体制の広域化に向けてブロック内の利用調整を行い、畜産農家の生産コスト削減及び耕作放棄地の解消に取り組みました。

○子牛出荷 出荷頭数 159頭

販売高 1億1,922万円

○酪農生乳 出荷量 1,707t

販売高 2億5,223万円

○WCS 栽培面積 6.5ha

供給本数 439本

(3) 菌床生しいたけは、各種研修会、巡回指導強化により収穫量維持と品質向上に取り組みました。出荷数量増加を目指し、令和7年度懸け橋事業を活用し、菌床購入支援を実施しました。

○菌床数 109,755菌床

○販売高 9,901万円

(4) 特産振興として、中山間地域品目の品質向上と販路の拡大に努めました。また、水田園芸作物、有機農産物の推進も行いました。

○中山間地域品目

エゴマ 栽培面積 87a 出荷量 257kg

柚子 栽培面積 176a 出荷量 12,289kg

有機かぼちゃ 栽培面積 20a 出荷量 1,944kg

損益の状況

(単位:千円)

科 目	令和6年度(A)	令和7年度(B)	前年対比(B)-(A)
1.事業総利益	7,304,083	7,265,138	△ 38,945
信用事業収益	2,716,368	3,403,268	686,900
信用事業費用	447,112	1,108,759	661,646
信用事業総利益	2,269,255	2,294,509	25,253
共済事業収益	1,555,567	1,552,801	△ 2,766
共済事業費用	194,651	213,584	18,933
共済事業総利益	1,360,916	1,339,216	△ 21,700
購買事業収益	14,951,608	14,554,766	△ 396,841
購買事業費用	12,260,288	11,839,830	△ 420,457
購買事業総利益	2,691,320	2,714,936	23,615
販売事業収益	1,019,734	1,197,334	177,599
販売事業費用	721,442	900,136	178,693
販売事業総利益	298,291	297,197	△ 1,094
保管事業収益	15,417	18,065	2,647
保管事業費用	3,057	4,144	1,086
保管事業総利益	12,360	13,921	1,561
加工事業収益	83,257	97,791	14,534
加工事業費用	71,282	86,084	14,801
加工事業総利益	11,974	11,707	△ 267
利用事業収益	579,359	543,519	△ 35,839
利用事業費用	339,444	333,221	△ 6,223
利用事業総利益	239,914	210,298	△ 29,616
葬祭事業収益	883,077	835,358	△ 47,719
葬祭事業費用	483,923	460,203	△ 23,719
葬祭事業総利益	399,154	375,154	△ 24,000
宅地等供給事業収益	13,102	6,915	△ 6,187
宅地等供給事業費用	636	711	74
宅地等供給事業総利益	12,466	6,204	△ 6,261
その他事業収益	5,707	4,973	△ 733
その他事業費用	6,219	5,454	△ 765
その他事業総利益	△ 512	△ 480	32
指導事業収入	152,982	136,988	△ 15,993
指導事業支出	144,040	134,516	△ 9,524
指導事業収支差額	8,941	2,472	△ 6,469
2.事業管理費	6,993,191	6,727,814	△ 265,377
(1)人件費	4,061,357	3,791,210	△ 270,147
(2)業務費	520,300	517,014	△ 3,285
(3)諸税負担金	173,592	198,902	25,310
(4)施設費	1,423,959	1,418,829	△ 5,129
(5)その他管理費	30,263	33,196	2,932
(6)本店事業管理費配賦額	783,718	768,661	△ 15,057
事業利益	310,891	537,323	226,431
3.事業外収益	299,477	308,074	8,597
4.事業外費用	109,938	101,093	△ 8,844
経常利益	500,430	744,303	243,873
5.特別利益	67,895	251,674	183,779
6.特別損失	258,048	363,402	105,354
税引前当期利益	310,277	632,575	322,298
法人税等	38,794	138,608	99,813
当期剰余金	271,482	493,967	222,484

(注)1.各事業区分の貸倒引当金繰入と貸倒引当金戻入は区分毎に処理している。

2.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計の金額は一致しない。

3.本店配賦額を含む。

事業別の明細

◆販売事業

(単位:千円、%)

品 目	取 扱 高		
	令和7年 3月末(A)	令和8年 3月末(B)	前年対比 (B)/(A)
米	1,723,093	1,781,518	103.4
J A し ま ね 米	1,603,055	1,570,369	98.0
加 工 用 米	30,945	55,184	178.3
ふ る い 下 米 穀	55,052	97,734	177.5
飼 料 用 米	34,040	58,230	171.1
麦・豆・雑穀	57,811	59,218	102.4
麦	18,822	29,526	156.9
そ ば	15,885	8,289	52.2
そ の 他 穀 類	23,103	21,402	92.6
農 産 計	1,780,905	1,840,737	103.4
果 実	1,916,885	1,834,847	95.7
ぶ ど う	1,534,992	1,598,104	104.1
柿	311,450	152,986	49.1
い ち じ く	64,159	76,055	118.5
果 実 そ の 他	6,282	7,700	122.6
野 菜	981,706	893,285	91.0
アスパラガス	86,336	97,838	113.3
き ゅ う り	119,443	102,474	85.8
ブロッコリー	120,859	112,108	92.8
青 ネ ギ	52,054	53,925	103.6
白 ね ぎ	11,435	6,338	55.4
メ ロ ン	7,920	7,708	97.3
甘 薯	18,521	21,079	113.8
リーフレタス	176,495	173,018	98.0
近 郊 野 菜	305,227	257,605	84.4
野 菜 そ の 他	83,413	61,188	73.4
産 直	415,008	396,519	95.5
ラピタ産直	322,074	313,465	97.3
直 販 野 菜	92,934	83,053	89.4
花・花木	57,155	43,452	76.0
林産物	437,604	440,719	100.7
その他	5,376	4,285	79.7
特 産 計	3,813,737	3,613,108	94.7
畜産物	3,073,756	3,262,931	106.2
肉 牛	616,328	672,341	109.1
子 牛	374,319	404,123	108.0
生 乳	1,661,284	1,659,130	99.9
鶏 卵	350,226	409,920	117.0
ス モ ール 牛	71,597	117,415	164.0
畜 産 計	3,073,756	3,262,931	106.2
合 計	8,668,399	8,716,776	100.6

(注)1.取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

2.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計の金額は一致しない。

3.本店配賦額は含まない。

◆購買事業

(単位:千円、%)

種 類		購買品供給高		
		令和7年 3月末(A)	令和8年 3月末(B)	前年対比 (B)/(A)
生産資材	肥 料	385,051	417,016	108.3
	農 薬	288,973	303,660	105.1
	飼 料	465,078	524,220	112.7
	施 設 資 材	741,292	777,652	104.9
	小 計	1,880,396	2,022,549	107.6
生活用品	店舗購買品	9,439,285	9,018,633	95.5
	自 動 車	250,551	226,615	90.4
	石 油 類	1,946,370	1,807,728	92.9
	L P ガ ス	785,202	762,049	97.1
	小 計	12,421,410	11,815,027	95.1
合 計		14,301,806	13,837,576	96.8

(注)1.畜産素畜は含まない。

2.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計の金額は一致しない。

3.本店配賦額は含まない。

◆保管事業

(単位:千円)

種 類		金 額		
		令和7年 3月末(A)	令和8年 3月末(B)	前年対比 (B)－(A)
収	保 管 料	12,527	16,356	3,829
	荷 役 料	2,890	1,709	△ 1,181
益	保管雑収入	0	0	0
	計	15,417	18,065	2,648
費	保管材料費	624	1,630	1,006
	保 管 雑 費	2,418	2,500	82
用	計	3,043	4,131	1,088
差 引		12,374	13,934	1,560

(注)1.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計の金額は一致しない。

2.本店配賦額は含まない。

◆加工事業・利用事業・葬祭事業・宅地等供給事業・その他事業

(単位:千円)

部 門	事 業 総 利 益		
	令和7年3月末(A)	令和8年3月末(B)	前年対比 (B)-(A)
加工事業(いちじく)	5,790	3,140	△ 2,650
利 用 事 業	240,170	210,298	△ 29,872
カ ン ト リ ー	124,371	104,910	△ 19,461
育 苗 セ ン タ ー	10,932	11,492	560
ラ ピ タ 会 場	14,301	14,967	666
コ イ ン 精 米	20,606	21,544	938
菌床椎茸施設	52,701	39,752	△ 12,949
パッキング施設	17,256	17,631	375
葬 祭 事 業	398,658	374,752	△ 23,906
宅地等供給事業	12,466	6,204	△ 6,262
そ の 他 事 業	△ 122	△ 93	29
人 工 授 精	△ 125	△ 93	32

(注) 1.各事業区分の貸倒引当金繰入と貸倒引当金戻入は、区分毎に処理している。

2.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計の金額は一致しない。

3.本店配賦額は含まない。

◆信用事業

(単位:百万円)

支 店 名	貯 金		貸出金	
	令和7年3月末残高	令和8年3月末残高	令和7年3月末残高	令和8年3月末残高
出 雲 支 店	29,446	29,776	14,837	14,383
出雲市役所支店	17,528	19,336	6,506	5,423
出 雲 東 支 店	11,271	11,139	5,008	4,995
塩 冶 支 店	15,220	15,095	4,648	4,803
出 雲 北 支 店	20,242	20,250	8,645	8,432
川 跡 支 店	11,373	11,488	5,140	5,528
平田中央支店	30,805	30,686	5,378	5,425
西 田 支 店	7,272	7,209	559	551
平 田 東 支 店	8,451	8,656	1,207	1,188
高 松 支 店	13,898	14,064	4,951	5,020
長 浜 支 店	10,075	9,898	1,662	1,678
大 社 支 店	16,450	16,633	1,096	1,074
荒 木 支 店	7,641	7,778	2,429	2,399
遙 堪 支 店	3,516	3,421	633	592
神 戸 川 支 店	21,262	20,977	5,699	5,897
多 伎 支 店	9,625	9,538	736	727
湖 陵 支 店	10,459	10,399	1,401	1,375
出 雲 南 支 店	10,054	9,805	1,268	1,174
佐 田 支 店	10,642	10,865	894	876
合 計	265,229	267,014	72,697	71,539

(注) 百万円未満は切り捨てているため、小計および合計は一致しない。

◆共済事業

支店名	長期共済契約件数(単位:件)		長期共済保有高(単位:百万円)		短期共済掛金(単位:万円)	
	令和7年3月末	令和8年3月末	令和7年3月末	令和8年3月末	令和7年3月末	令和8年3月末
出雲支店	5,108	4,974	34,282	33,123	20,779	21,471
出雲東支店	4,849	4,793	31,480	30,299	13,942	13,674
塩冶支店	6,044	5,995	37,725	38,636	9,764	10,302
出雲北支店	8,432	8,311	54,061	51,627	16,125	17,203
川跡支店	6,021	5,926	31,136	30,517	15,415	15,758
平田中央支店	13,197	13,035	79,203	76,091	30,567	32,525
西田支店	4,007	3,939	21,650	20,450	5,564	5,791
平田東支店	5,173	5,091	29,187	27,841	7,871	8,212
高松支店	6,450	6,362	36,301	34,798	9,547	9,809
長浜支店	3,976	3,859	23,713	22,632	7,072	7,669
大社支店	4,945	4,814	31,130	29,751	9,294	9,599
荒木支店	4,450	4,374	23,893	22,938	7,043	7,322
遙堪支店	2,107	2,076	12,510	12,010	3,234	3,295
神戸川支店	11,011	10,816	56,458	54,663	16,720	17,342
多伎支店	4,069	4,020	22,418	21,371	6,678	6,944
湖陵支店	4,816	4,733	26,796	25,674	12,975	13,803
出雲南支店	5,169	5,064	26,745	25,534	10,445	10,648
佐田支店	5,102	4,977	26,181	24,627	12,056	11,879
地区本部	—	—	—	—	2,309	2,398
合計	104,926	103,159	604,878	582,590	217,413	225,652

(注) 単位未満は切り捨てている。従って合計の金額は一致しない。

◆令和7年度出雲地区本部業績還元について

(単位:千円・税込)

	実施内容	概要	実施額
1	各地区農業祭りへの助成	○第9回出雲地区本部農業まつり及び各まつりへの助成	1,168
2	女性部・やすらぎ会への支援	○JALまね出雲女性部まつり&家の光大会の支援及びやすらぎ会活動支援 ○女性部員増員キャンペーンに対する奨励金	700
3	営農関連支援対策	○出雲産畜産物の消費拡大(ラピタと連携、農業祭り) ○農業関係アプリ「デイワーク」の求職者向け普及拡大対策 ○肥料価格高騰対策(予約肥料価格支援) ○グリーンセンターでの正組合員感謝セール	8,706
4	ラピタ利用者への還元	○地元農畜産物・加工品の販売セール等実施 ○おさいふカードポイント付加による還元 ○米価格高騰対策として家計応援セールの実施	3,935
5	燃料高騰対策及び自動車購入者への還元	○ガス器具購入者への還元、展示会支援 ○自動車購入者への還元 ○燃料高騰対策	2,066
6	信用共済事業利用者への還元	○年金受給者の皆様へ粗品プレゼント ○共済契約者の皆様へ証書入れの配布	1,458
合計			18,033

組織の概要

組合員の状況

(1) 組合員数

(単位:組合員数)

資 格 区 分			令和7年3月末	増 減	令和8年3月末
正組合員	個 人		10,794	△ 352	10,442
		う ち 女 性	2,521	△ 72	2,449
	法 人	農事組合法人	30	1	31
		その他の法人	50	3	53
	小 計		10,874	△ 348	10,526
准組合員	個 人		48,947	△ 879	48,068
	農 業 協 同 組 合		0	0	0
	農 事 組 合 法 人		1	0	1
	そ の 他 の 団 体		73	△ 4	69
	小 計		49,021	△ 883	48,138
合 計			59,895	△ 1,231	58,664

備考: 令和8年3月末正組合員戸数 8,834戸

令和8年3月末准組合員戸数 31,773戸

(2) 出資口数

(単位:口)

資 格 区 分			令和7年3月末	増 減	令和8年3月末
正組合員	個 人		4,547,580	△ 171,971	4,375,609
		う ち 女 性	624,554	△ 29,655	594,899
	法 人	農事組合法人	3,493	23	3,516
		その他の法人	4,033	188	4,221
	小 計		4,555,106	△ 171,760	4,383,346
准組合員	個 人		1,688,612	△ 57,853	1,630,759
	農 業 協 同 組 合		0	0	0
	農 事 組 合 法 人		5	0	5
	そ の 他 の 団 体		4,587	△ 87	4,500
	小 計		1,693,204	△ 57,940	1,635,264
処 分 未 済 持 分			0	0	0
合 計			6,248,310	△ 229,700	6,018,610

備考:(1) 出資1口金額(令和8年3月末) 1,000円

(2) 当期末払込済出資総額(令和8年3月末) 6,018,610,000円

(3) 1正組合員当たりの出資金額(令和8年3月末) 416,430円

組合員数・戸数 一覧表

R8.3.31 現在

ブロック名	支店・地区名	正組合員数	准組合員数	組合員数 合計	正組合員数 前年対比	准組合員数 前年対比	正組合員 戸数	准組合員 戸数	組合員戸数 合計
	出 雲	43	2,605	2,648	1	△ 101	32	2,239	2,271
中部 ブロック	大 津	166	2,884	3,050	△ 9	△ 78	142	2,128	2,270
	上 津	278	387	665	△ 10	△ 8	234	167	401
	塩 冶	350	4,015	4,365	△ 6	△ 84	285	3,114	3,399
	四 絡	297	3,090	3,387	△ 11	△ 53	227	2,378	2,605
	高 浜	391	1,102	1,493	△ 9	△ 20	325	623	948
	川 跡	362	2,808	3,170	△ 10	△ 11	312	2,060	2,372
	鳶 巣	206	490	696	△ 6	△ 6	172	270	442
東部 ブロック	平田中央	556	3,183	3,739	△ 18	△ 25	487	2,044	2,531
	灘 分	396	1,051	1,447	△ 11	△ 24	345	541	886
	国 富	314	854	1,168	△ 12	△ 14	276	417	693
	佐 香	48	690	738	△ 3	△ 21	47	421	468
	西 田	215	464	679	△ 5	△ 10	199	193	392
	鰐 淵	129	225	354	△ 7	△ 6	120	108	228
	北 浜	139	507	646	△ 9	△ 7	120	284	404
	平 田 東	334	842	1,176	△ 6	△ 13	308	406	714
	桧 山	200	462	662	△ 10	△ 4	169	208	377
	伊 野	200	419	619	△ 7	△ 5	188	163	351
西部 ブロック	高 松	586	3,246	3,832	△ 12	△ 16	468	2,132	2,600
	長 浜	569	1,506	2,075	△ 17	△ 12	479	858	1,337
	大 社	117	2,240	2,357	△ 9	△ 49	103	1,525	1,628
	日 御 碕	85	273	358	△ 6	△ 10	77	151	228
	鵜 鷺	36	95	131	△ 1	△ 5	32	68	100
	荒 木	428	1,791	2,219	△ 16	△ 45	328	1,195	1,523
	遙 堪	318	604	922	△ 9	△ 10	250	343	593
河南 ブロック	神 戸 川	652	2,822	3,474	△ 14	△ 43	557	1,851	2,408
	神 西	441	972	1,413	△ 9	△ 21	375	486	861
	多 伎	399	1,395	1,794	△ 20	△ 53	346	802	1,148
	湖 陵	537	2,021	2,558	△ 26	△ 40	457	1,262	1,719
南部 ブロック	朝 山	353	570	923	△ 12	△ 4	291	268	559
	稗 原	407	530	937	△ 11	△ 13	326	186	512
	乙 立	139	228	367	△ 7	△ 13	108	105	213
	佐 田	821	1,438	2,259	△ 31	△ 14	635	595	1,230
	そ の 他	14	2,329	2,343	0	△ 45	14	2,182	2,196
	合 計	10,526	48,138	58,664	△ 348	△ 883	8,834	31,773	40,607

理事・地区本部運営委員の状況

選出区分		理事数	地区本部運営委員数
地域 枠	中部	1	8(1)
	東部	1	6(1)
	西部	1	6(1)
	河南部	1	5(1)
	南部	1	4(1)
全体 枠	女性代表	1	-
	組織代表(青年部)		1
	実務経験者		-
	全 域	1	
合 計		7	30(5)

(注) 地区本部運営委員数の()は女性枠の内数

職員の状況

区 分	令和7年3月末	令和8年3月末
一 般 職 員	351	322
営 農 指 導 員	23	25
生 活 指 導 員	5	5
店 舗 職 員	88	81
有 期 雇 用 職 員	285	260
パートタイム職員	26	22
そ の 他	0	0
合 計	778	715

(注) 1.営農指導員は営農渉外員、営農相談員等の指導担当者を含めております。

また、生活指導員は支店の生活指導係を含めていません。

2.その他は、子会社等からの出向者。

3.出雲地区本部からの本店職員を含む。

4.本店、他地区本部から出雲地区本部勤務の職員を除く。

組合員組織

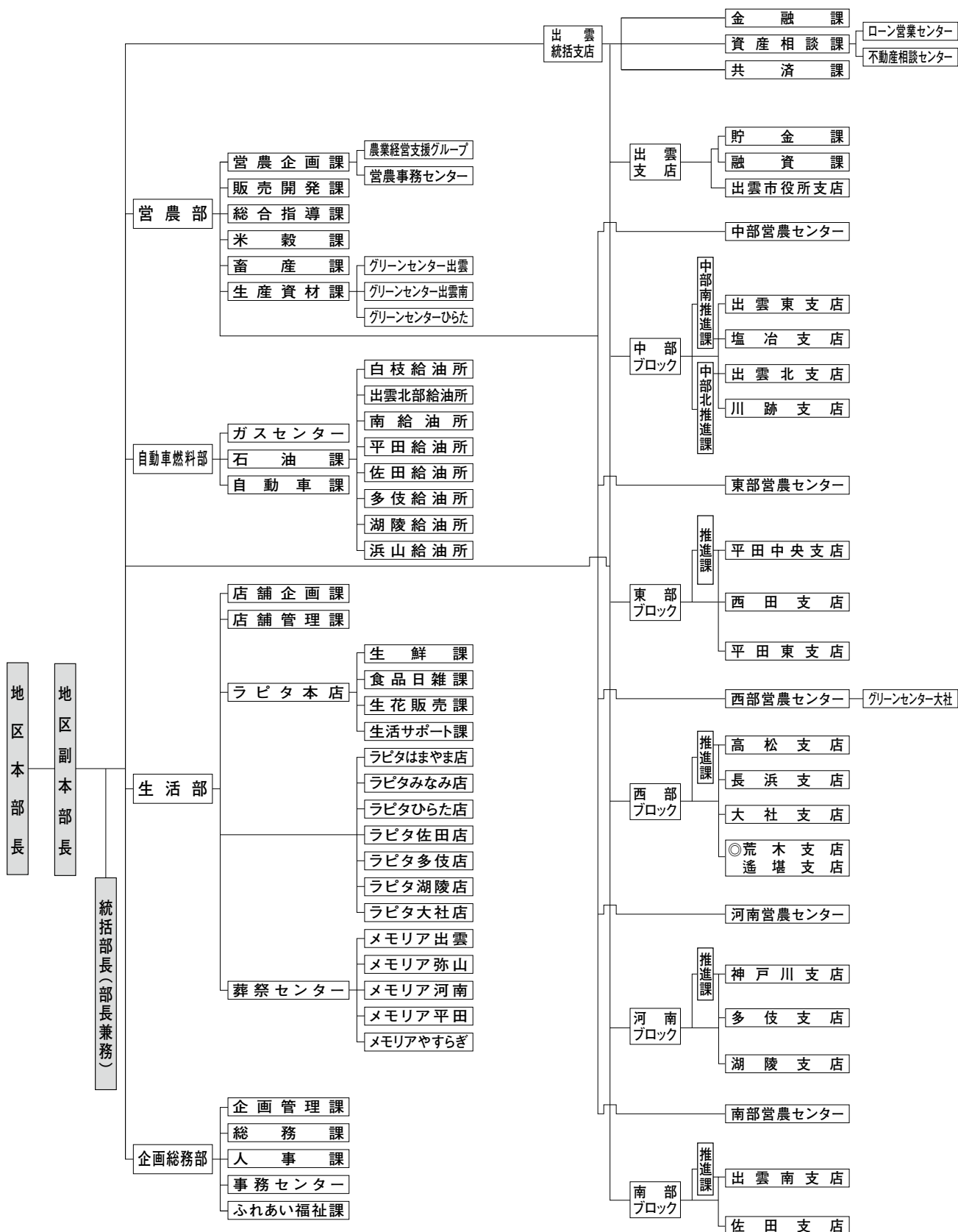
令和8年3月31日現在

組織名	構成員数	組織名	構成員数
青年連盟	116	花卉部会（平田）	9
女性部	3,184	柚子部会	31
稲作研究会	98	出雲しいたけ部会	55
田もち会	18	農産物直売会	594
出雲地区農業経営受託組合	28	茶部会	16
平田農業機械銀行	10	神門梨部会	4
出雲そば生産組合	40	プルーン部会	4
佐田町水稻採種組合	9	プラム部会	4
ぶどう部会	292	メロン部会	12
平田柿部会	68	いちご部会	7
朝山西条柿生産部会	2	ブロッコリー部会	56
いちじく部会	84	青ネギ部会	17
アスパラガス部会	31	草花採種部会	2
きゅうり部会	15	和牛改良組合	54
湖陵町かんしょ生産組合	22	肥育牛部会	7
露地野菜部会	24	酪農部会	16
神在ねぎ部会	17	養鶏部会	3
パプリカ部会	2	集落営農組織連絡協議会	55（組織）
大根部会	9	J A いずも 農業青色申告会	257
花卉部会（出雲）	15		

令和8年3月31日現在

出 雲 地 区 本 部

出 雲 地 区 本 部 事 業 所



JALしまね

第13事業年度 事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

令和8年度 基本方針

総合収支計画



令和8年度 基本方針

農業情勢

近年、国内外の情勢変化により、農業を取り巻く環境は大きく変動しています。国際的には長引くウクライナ紛争に加え、令和8年2月にはアメリカ・イスラエルがイランへ攻撃するなど、国際紛争の激化や、世界的な大規模気象災害の発生等により資源価格高騰や円安を背景とする飼料・生産資材等の高騰が長期化・拡大しています。国内では人口減少が進展し、とりわけ地方部においては若年層や生産年齢人口の著しい縮減が地方活性化を阻む大きな要因となっており、農業従事者の高齢化や担い手不足がさらに深刻化しています。島根県においては令和8年1月に島根県東部を震源とした最大震度5強の地震が発生し、大規模災害には至らなかったものの、建物被害・ライフライン障害等が生じました。

農政においては、令和6年夏に米不足が社会問題化したなか、需要予測や作況などの統計、流通や価格形成のあり方、備蓄制度等、広範囲にわたり水田農業政策・米政策の見直しが議論されています。また、令和6年5月に初めて食料・農業・農村基本法が改正され、令和7年度からの5カ年を農業構造転換集中対策期間とし、食料安全保障の確保と生産基盤強化施策を集中的に展開するとされています。

また、引き続き社会的潮流として持続可能性に資する取り組みが重要視されているほか、非対面による消費活動やコミュニケーションなどを通じて、社会・個人へのデジタル技術の浸透が一層進展しています。特に生成AIの登場など、デジタル環境は飛躍的に進歩しており、以前よりも低コストでデジタル技術を活用した事業変革（デジタルトランスフォーメーション：DX）に取り組む余地・可能性が大幅に増大しています。業務効率化や生産性向上に向けた取り組みとして重要性が高まるなか、農業面においても人工知能、ドローン技術などのデジタル技術の導入が進みつつあります。

組織情勢

国内外で大きく環境が変化するなか、持続可能な組織基盤・経営基盤を確立し、将来にわたって「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」としての役割発揮に取り組めます。

J Aグループでは、第30回J A全国大会（令和6年10月）で決議した、めざす姿（2030年）として掲げた「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割発揮」の達成に向けて、「デジタル活用」「事業間連携」や「持続可能性に資する取り組み」が重要であるとの視点に立ったうえで、着実に実践に取り組めます。

運営方針

JAしまねは、人口減少、高齢化、担い手不足などの厳しい経営環境が続くなかで、農業・地域・JA組織などの基盤自体が危機的な状況にあり、地区本部間の格差も広がりつつあります。このまま推移するとそれぞれの持続可能性が懸念されるため、各基盤の確立・強化に取り組む必要があります。

統合メリットを最大限に発揮して、組合員と地域にとってなくてはならない存在であり続けるため、第4次中期経営計画ではあらためて2030年に向かって挑戦する「めざす姿」を提起するとともに、その実現に向けて運営体制の見直しを含む改革に取り組むこととしています。

令和8年度は計画の2年目として、取り組み毎に定めた目標達成が着実となるよう、役員が一体となって取り組みを進めます。

(1) 食と農を未来につなぐ持続可能な農業の実現

次世代の担い手確保や多様な農業者への支援、環境へ配慮した農業の推進により農業生産基盤を支えるとともに、島根県や市町村の行政機関をはじめとする関係機関・組織等と一体となって「農業所得の増大」、「安全・安心な国産農畜産物の安定供給」を実現することで、食料安全保障に貢献します。

(2) 豊かなくらし・地域社会の活性化

協同活動と総合事業を通じた組合員の願いの実現・課題解決により、組合員のくらしへの貢献、地域社会の活性化・地域コミュニティの維持による地域社会の持続的発展に取り組めます。

(3) 協同組合としての役割発揮を支える組織基盤の強化

組合員の意思反映に向けた組合員との対話に取り組むとともに、組合員の願いを把握し、協同活動と総合事業を通じて実現することで組合員との関係強化を図り、組合員とともに営農やくらしの願いの実現に取り組めます。

また、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としてさらなる助け合いの力を発揮するため、JAの仲間づくりに取り組めます。

(4) 健全・強固な経営基盤の強化

将来にわたり組合員・利用者のニーズに応え、価値提供していくため、不断の自己改革として、財務・収支の改善を図ることで、持続可能な経営基盤の確立に取り組めます。また、高度なガバナンス・内部統制の構築に取り組むことで、組合員・利用者から信頼される組織・業務運営を進めるとともに、組織・業務運営の原動力となる職員が働きやすい、働きたいと感じる職場づくりに取り組めます。

(5) 農業・JAへの理解・共感の醸成

食料・農業・農村基本法の改正を踏まえた「食料安全保障の確保」、「適正な価格形成」に向けた地域の理解醸成及び行動変容に向けた情報発信に取り組めます。

また、食と農、地域を支える組織としてのJAに対する県民や幅広い関係者の理解・共感の醸成に取り組めます。

総合収支計画

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

令和8年度は前年度に続き農林中央金庫の還元減少等による減収に加え、昨今の諸物価高騰の影響が予想されるが、事業利益 349 百万円、当期剰余金 469 百万円、全地区本部が黒字の計画を策定しています。

(単位：百万円)

科目	金額	(参考) 令和7年度 実績
1 事業総利益	22,518	23,108
(1) 信用事業収益	12,887	12,350
(2) 信用事業費用	4,918	4,208
信用事業総利益	7,968	8,142
(3) 共済事業収益	6,100	6,341
(4) 共済事業費用	671	650
共済事業総利益	5,429	5,690
(5) 購買事業収益	29,506	27,891
(6) 購買事業費用	24,707	22,920
購買事業総利益	4,798	4,971
(7) 販売事業収益	46,870	6,696
(8) 販売事業費用	45,492	5,448
販売事業総利益	1,377	1,248
(9) 保管事業収益	228	195
(10) 保管事業費用	79	65
保管事業総利益	149	129
(11) 加工事業収益	5,277	5,460
(12) 加工事業費用	4,760	4,860
加工事業総利益	516	599
(13) 利用事業収益	2,418	2,370
(14) 利用事業費用	1,467	1,383
利用事業総利益	950	986
(15) 葬祭事業収益	3,668	2,763
(16) 葬祭事業費用	2,394	1,538
葬祭事業総利益	1,274	1,224

科目	金額	(参考) 令和7年度 実績
(17) 宅地等供給事業収益	34	20
(18) 宅地等供給事業費用	10	4
宅地等供給事業総利益	24	15
(19) 農業経営事業収益	457	527
(20) 農業経営事業費用	412	490
農業経営事業総利益	45	37
(21) その他事業収益	410	462
(22) その他事業費用	215	249
その他事業総利益	195	212
(23) 指導事業収入	530	512
(24) 指導事業支出	742	663
指導事業収支差額	▲ 212	▲ 150
2 事業管理費	22,168	21,998
(1) 人件費	13,737	13,718
(2) 業務費	3,042	2,953
(3) 諸税負担金	824	829
(4) 施設費	4,445	4,385
(5) その他管理費	119	111
事業利益	349	1,110
3 事業外収益	1,011	1,154
4 事業外費用	520	514
経常利益	840	1,749
5 特別利益	10	822
6 特別損失	194	1,200
税引前当期利益	655	1,372
法人税等	186	385
当期剰余金	469	986

※金額は収益認識会計基準に基づく会計処理を考慮していません。

※金額には委託販売における販売高・受入高を含めています。

JALまね 出雲地区本部

第13事業年度 事業計画

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

令和8年度 基本方針

令和8年度の主な重点実施事項

令和8年度 事業計画

総合損益計画

令和8年度 営農センター活動方針・重点事項



JALまね 出雲地区本部

令和8年度 基本方針

(1) 基本方針

担い手不足の深刻化や生産コストの高騰、さらには相次ぐ異常気象や需給変動に伴う農産物価格の不安定化など、組合員の農業経営は大きな混乱の中にあります。こうした厳しい環境変化を的確に捉え、多様な担い手への支援を通じて生産の最大化と所得増大に邁進します。特に「国消国産」の考え方にに基づき、地産地消の推進を軸として、次世代へつなぐ持続可能な農業を追求します。

また、希薄化する地域社会において、積極的な「対話」を通じて絆を深め、協同組合として豊かでくらしやすい地域社会を共に創り上げます。これらの使命を果たすため、不断の業務効率化により強固な経営基盤を確立し、いかなる環境変化にも揺るがない組織を目指します。

(2) 事業方針

① 営農・農業振興

- ア. 多様な担い手の確保・育成と農業経営支援の強化
- イ. 異常気象に応じた栽培指導の実践と基本管理技術の徹底による農業生産の維持・拡大
- ウ. 繁殖素牛の更新および肥育素牛・乳用牛の導入支援
- エ. WCS 稲や飼料用米等の地元産飼料作物の確保と品質向上
- オ. 食料システム法をふまえた農畜産物の適正な価格形成の実現
- カ. 予約注文数量の積み上げや物流ロットの集約による生産資材の安価・安定供給
- キ. 永続的運営を目的とした広域連携化による農業関連施設整備の検討

② くらしの活動

- ア. 組合員・地域住民との連携強化による地域活性化に向けた取り組み実践
- イ. JA・農業・食に対する次世代層の理解促進を目的とした食農教育の実践
- ウ. JAの魅力や地域貢献活動を多様な媒体で発信し、幅広い世代の理解と共感を広げる取り組みの実践

③ ラピタ(購買事業)

- ア. 地産地消を基本とした「安全・安心・新鮮」な商品提供を通じて、地域に寄り添った魅力ある店舗づくりの推進
- イ. 組合員サービスの向上を目指した店舗運営のあり方と子会社化の検討

④自動車燃料事業

- ア. 専門的な人材の確保と育成による保安・運営体制の充実
- イ. 利用者満足度向上を目指し、「安全・安心・快適」を追求するとともに、総合力を活かした魅力あるサービスの提供

⑤葬祭事業

- ア. 家族葬や小規模葬をはじめとする多様なニーズに寄り添い、地域から信頼される葬祭事業の展開
- イ. 葬祭事業のPR活動による利用促進

令和8年度の主な重点実施事項

区分	実施事項	目標値(令和8年度)	
		指標	数値
営農・農業振興	1. 新規就農者と地域の担い手の育成支援		
	(1)関係機関と連携して、新規就農者の確保・育成	認定新規就農者	5名
	(2)関係機関と連携した、新たな担い手の確保・育成	新規認定農業者	7名
	(3)「地区担い手育成ビジョン」に基づいた営農組合設立・協業化・法人化支援	組織化 協業化 法人化	1件
	2. 農畜産物振興		
	(1)つや姫・きぬむすめへの品種誘導	作付面積	つや姫 175ha きぬむすめ 1,410ha
	(2)園芸産地の拡大と農家所得の最大化	特産販売目標	38億9,700万円
	(3)各種補助事業活用による新規生産者及び既存生産者の規模拡大	ぶどう 菌床しいたけ アスパラガス	16億1,000万円 4億4,200万円 1億円
	(4)ラピタ農産物直売会の新規会員獲得と売場活性化及び市内関係直売所(直販野菜)との連携強化による直売事業の拡大	直売事業 うちラピタ産直 うち直販野菜	4億2,600万円 3億4,000万円 8,600万円
	(5)畜産経営新規就農支援及び後継者を中心とした規模拡大支援	畜産販売目標	31億6,700万円
	(6)美味しまね認証取得品目の拡大	新規認証取得	新規認証取得 10名
	3. 営農指導の充実・強化		
	(1)営農指導員の資質向上	ニューフェイス研修 スペシャリスト研修 生育調査 坪刈り調査	ニューフェイス研修:4回 スペシャリスト研修:5回 生育調査:5回 坪刈り調査:4回
	(2)若手営農担当者を中心に水稻展示圃での生育調査に併せ、スキルアップと現場対応力の強化		
	(3)「出向く営農指導」体制強化 組合員ニーズの把握と提案活動による組合員満足度の向上	訪問先 訪問回数	150経営体 3,600回
くらしの活動	1. くらしの活動による組合員・地域住民の総合的な支援		
	(1)女性部員の高齢化による後継者対策として若手役員登用により新たな体制づくりの支援とフレッシュミズ活動の充実によりアクティブメンバーシップの強化	開催数	フレッシュミズ 活動5回以上
	(2)「いずもJA女子大学」並びに「シニア女子大学みずき」の講座開講の支援を行い、自分磨きのお手伝いを通じた受講生・地域住民への貢献	両女子大学の支援・運営	—
	(3)「農業まつり」「来店感謝デー」等、組合員・地域住民との交流の場づくりの実施・支援	開催店舗数	全支店の実施
	(4)広報誌、SNS、支店だより等を活用した情報発信の強化	発行(掲載)数	SNS等による月2件以上 掲載、支店だよりの発行

区分	実施事項	目標値(令和8年度)	
		指標	数値
く ら し の 活 動	(5)「家の光」、「地上」、「ちゃぐりん」と日本農業新聞をJA役職員と組合員・地域住民をつなぐ教育資材と位置づけた、計画的な普及運動の展開	普及率	家の光三誌 普及率:26.9% 日本農業新聞 普及率:9.6%
	2. 「助け合い」を基軸とした地域貢献活動の展開		
	(1)助け合い組織「出雲やすらぎ会」を中心に地域でのミニデイサービス、声かけ訪問、ボランティア活動の実施と支援	各地区にて継続実施	—
	(2)フードロス削減や地域の将来を担う子どもたちの健全な育成のため「こども食堂」「フードバンク」等への支援	社協等との連携強化を図り支援実施	—
	3. 食と農を基軸とした活動と地産地消への取り組み		
	(1)こども達や次世代に対して食農教育活動を実施	実施数	年間を通じて食農体験学習の実施
	(2)食・農・くらしに役立つ教室を開催し、地域住民の健康で安心な暮らしを支援	実施数	年間を通じて教室を実施
	4. 健康長寿を目指した健康管理活動の実施		
	(1)地域組合員を対象とした組合員健康診断、巡回人間ドックの実施	実施日数	5会場
	(2)農業者等を対象とした担い手ドック、農業者・女性部健診の実施	実施日数	担い手ドック9回 農業者女性部健診4回
信 用 事 業	1. 農業メインバンク機能の強化		
	(1)地域農業を支えるメインバンクとして、資金ニーズの把握及び質の高い金融サービスの提供による「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への貢献と農業融資の伸長	農業融資新規実行	4億9,200万円
	(2)総合事業の強みを発揮し、営農部門との連携強化	継続実施	—
	2. 生活メインバンク機能の強化		
	(1)組合員・利用者への情報提供等により住宅ローン等の新規利用者の拡大	個人貸出金平残	568億1,100万円
	(2)相続及び資産相談への迅速かつ的確な対応による利用者満足度の向上 農地利活用に関する対応・相談・助言の継続的展開を可能とする体制の確立及び人材育成	継続実施	—
	(3)魅力的な金融サービス・商品の提供や年金・給与振込のJAでの受取増加による個人の預かり資産の増強	個人貯金平残	2,140億3,400万円
	(4)次世代層との関係構築・強化のため、非対面取引を含めた様々なチャネルを活用した複合取引の拡大	継続実施	—
	3. 利用者保護と地域貢献		
	(1)組合員・利用者に寄り添った対応及び迅速かつ正確な事務運営	継続実施	—
	(2)多様化する特殊詐欺防止に向けた職員の金融機能不正利用防止意識の更なる向上	継続実施	—
	(3)出雲市指定金融機関としてのサービス向上、各種協賛を通じた地域貢献	継続実施	—

区分	実 施 事 項	目 標 値(令和8年度)	
		指標	数値
信用事業	4. 業務基盤強化		
	(1)店舗事務全般について事務堅確性向上	自主検査の徹底	—
	(2)業務体制整備による効率的な事業運営の構築	継続実施	—
共同事業	1. 「ひと・いえくるま・農業」の総合保障による万全な保障の提供		
	(1)組合員・利用者一人ひとりに寄り添ったフォロー活動(3Q活動)を通じてきめ細やかな保障点検や「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスが取れた総合的保障を提供し、安心と満足の実現	3Q活動実施	30,000名以上
	(2)農業リスク診断活動を通じてJA共済の優位性を含めた情報提供を実施し、未保障農業用自動車の解消と保障充足率の向上、担い手経営体の不安解消	農業用車両 自動車共済新規	73件以上
	2. 選ばれ続けるJA・JA共済を目指した取組み		
	(1)組合員・利用者への万全なくるま保障の提供と、未保障自動車の解消	自動車共済 新規件数前年比	106%以上
	(2)子育て支援・次世代対策の一環として実施する「JAしまねこども倶楽部」を通じた、接点強化と関係性強化による新たな仲間づくり	こども倶楽部 新規会員数	200名以上
	3. 非対面手続きによる契約者の利便性向上と事故時における満足度向上		
	(1)WEBやアプリを活用した、「いつでも・どこでも・望む方法」による非対面手続きの拡充に取組み、組合員・利用者の利便性向上と、有事の際に組合員・利用者へスムーズな連絡・共済金請求を目的としたサービスの提供	WEBマイページ 登録件数	1,723件以上
	(2)JA自動車共済契約者対応担当者(愛称:安心サポーター)を中心として、契約者へ寄り添う姿勢のもと、「身近で安心なJA共済」の特徴を活かした自動車損害調査の実践	満足度 (事故連絡時・現場急行時)	97.0%以上
購買事業(生活部)	1. 財務基盤の強化と機能的な店舗運営		
	(1)店舗規模や地域特性に応じた店舗展開	店舗購買品 供給高	90億1,600万円
	(2)ラピタ各店舗の収支改善		
	(3)施設の計画的な改修・更新や新規テナント誘致		
	2. JA店舗の強みを生かした売場づくり		
	(1)各組織団体(生活購買運営委員、女性部等)との積極的な意見交換による売場の改善	生活購買運営委員会の開催	4回
	(2)地産地消を基本とし、生産部会や協栄会(ラピタ納入業者組織)等と連携した地元産品の推進	地元産品を拡販するイベント等の開催	—
	3. 職員教育強化によるサービスの向上や業務の効率化・改善		
	(1)内部研修や農協流通研究所、AJS(オール日本スーパーマーケット協会)などの外部講習会を活用した職員教育の充実	計画的な教育研修の実施	—
(2)機構改革や各種システム導入等による、業務の効率化や改善、労働生産性の向上	継続的な改善施策の検討・実施	—	

区分	実 施 事 項	目 標 値(令和8年度)	
		指標	数値
購買事業（生活部）	4. 葬祭事業のサービス向上・充実		
	(1) 利用者の多岐に渡るニーズに応じた葬儀を提案するとともに法要ギフトの提案等、「アフター葬儀」の取り組みによる満足度向上	葬儀施行件数 シェア	930件以上 58 %以上
	(2) 多様化する葬儀ニーズに対応した、適切なメモリア会館の改修、整備、維持		
(3) 地元ケーブルテレビCMを活用した、PRを積極的に行うなど、JA葬祭事業の施行シェアを維持向上			
購買事業（自動車燃料）	1. 「安全・安心・快適」な自動車燃料事業の展開と基盤の確立		
	(1) リース契約によるガス機器販売でのガス供給先の長期確保	集中監視システムの 無線化	800件
	(2) 低コスト広範囲の通信機器の導入による業務効率化と保安の確保		
	(3) 給油所の運営体制の強化と収支改善	燃料油供給数量	13,486kl
	(4) 石油施設の保守修繕と安全管理の強化		
	(5) 各種キャンペーンの実施による組合員・利用者満足度向上に向けた取り組み強化	車販売台数 (新車・中古車)	191台
(6) 多様な利用者ニーズに応じた、車両販売メニューの提案・JA内各事業との連携の強化と新たな車両購入メニューの提案・構築			
地区本部運営	1. 経営基盤強化		
	(1) 地区本部業務のスリム化及び効率化を踏まえた収支改善 ◆『業務・事業改革断行』	①業務改革断行 ②事務集約化による 管理費削減 ③人員の適正配置	—
	(2) 経営基盤強化のための組織再編・機構改革 ～支店再編と会館機能の見直し～	①大社地区1支店化の 実施 ②遊休資産解消に向けた 検討・実施 ③ブロック再編検討	—
	2. 組織基盤強化		
	(1) 不祥事再発防止に向けたコンプライアンス遵守態勢の強化 ◆『不祥事未然防止対策の実践』	①コンプラ研修とコンプラ マニュアルの読み合わせ 実施 ②実効性ある 自主検査の実施 ③連続職場離脱の実施	—

令和8年度 事業計画

◆販売事業計画

(単位:千円、%)

品 目	実績・計画		令和7年度実績		令和8年度計画		前年対比
			取扱高(A)	数 量	取扱高(B)	数 量	(B)/(A)
米			1,781,518		2,991,653		167.9
	J A し ま ね 米		1,570,369	123,283袋	2,837,373	192,166袋	180.7
	加 工 用 米		55,184	2,702袋	14,400	2,400袋	26.1
	ふ る い 下 米 穀		97,734	218t	105,300	293t	107.7
	飼 料 用 米		58,230	1,385t	34,580	798t	59.4
麦・豆・雑穀			59,218		33,080		55.9
	麦		29,526	160t	18,800	252t	63.7
	そ ば		8,289	9t	5,800	11t	70.0
	そ の 他 穀 類		21,402		8,480		39.6
農 産 計			1,840,737		3,024,733		164.3
果 実			1,834,847		2,014,900		109.8
	ぶ ど う		1,598,104	921t	1,610,000	1,006t	100.7
	柿		152,986	246t	312,000	545t	203.9
	い ち じ く		76,055	99t	80,000	109t	105.2
	果 実 そ の 他		7,700		12,900		167.5
野 菜			893,285		949,500		106.3
	アスパラガス		97,838	84t	100,000	74t	102.2
	き ゆ う り		102,474	272t	102,000	290t	99.5
	ブロッコリー		112,108	247t	110,000	269t	98.1
	青 ネ ギ		53,925	61t	62,000	55t	115.0
	白 ね ぎ		6,338	13t	6,500	38t	102.6
	メ ロ ン		7,708	13t	7,000	15t	90.8
	甘 薯		21,079		20,000		94.9
	リーフレタス		173,018	302t	180,000	245t	104.0
	近 郊 野 菜		257,605		300,000		116.5
	野 菜 そ の 他		61,188		62,000		101.3
産 直			396,519		426,750		107.6
	ラピタ産直		313,465		340,000		108.5
	直 販 野 菜		83,053		86,750		104.5
花き花木	花 卉		43,452		60,000		138.1
林産物	菌床生しいたけ		440,719	390t	442,000	417t	100.3
その他	そ の 他 特 産		4,285		4,500		105.0
特 産 計			3,613,108		3,897,650		107.9
畜産物			3,262,931		3,167,272		97.1
	肉 牛		672,341	1,070頭	599,620	1,001頭	89.2
	子 牛		404,123	646頭	403,240	622頭	99.8
	生 乳		1,659,130	11,158t	1,705,872	11,372t	102.8
	鶏 卵		409,920	1,019t	361,800	1,005t	88.3
	ス モ ー ル 牛		117,415	659頭	96,740	691頭	82.4
畜 産 計			3,262,931		3,167,272		97.1
合 計			8,716,776		10,089,655		115.7

(注)1.取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

2.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計の金額は一致しない。

3.本店配賦額は含まない。

◆購買事業供給計画

(単位:千円、%)

種 類	令和7年度実績 供給高(A)	令和8年度計画 供給高(B)	前年対比 (B)/(A)
生産資材	肥 料	417,016	92.3
	農 薬	303,660	93.9
	飼 料	524,220	88.7
	施 設 資 材	777,652	96.4
	小 計	2,022,549	93.2
生活用品	店 舗 購 買 品	9,018,633	99.9
	自 動 車	226,615	110.9
	石 油 類	1,807,728	93.7
	L P ガ ス	762,049	99.2
	小 計	11,815,027	99.2
合 計	13,837,576	13,603,134	98.3

(注) 1.畜産畜畜は含まない。

2.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計は一致しない。

3.本店配賦額は含まない。

◆信用事業計画

(単位:千円、%)

種 類	令和7年度実績 残高(A)	令 和 8 年 度 計 画		前年対比 (B)/(A)
		期末残高(B)	平均残高	
貯 金	当 座 性	154,541,978	154,811,757	100.2
	定 期 性	112,471,657	106,692,751	94.9
	合 計	267,013,635	261,504,508	97.9
貸 出 金	手 形 貸 付 金	251,105	247,442	98.5
	証 書 貸 付 金	68,998,619	67,992,112	98.5
	当座・総合貸越	2,289,725	2,247,403	98.5
	合 計	71,539,449	70,495,878	98.5

(注) 単位未満は切り捨てている。従って計及び合計は一致しない。

◆長期共済保有計画

(単位:万円、%)

年 度		令和7年度末保障高		令和8年度新契約		令和8年度満期・解約等		令和8年度末保障高		前年対比 (B)/(A)
項 目		件数	金額(A)	件数	金額	件数	金額	件数	金額(B)	
長	生 命	78,752	24,043,605	5,920	1,178,772	9,367	3,219,708	75,305	22,002,669	91.5
	建 更	24,407	34,215,489	1,300	1,752,245	2,108	2,865,922	23,599	33,101,812	96.7
	合 計	103,159	58,259,094	7,220	2,931,017	11,475	6,085,630	98,904	55,104,481	94.6
期	(医 療)	23,325	204,560	965	12,300	2,148	3,418	22,142	213,442	104.3
	(が ん)	9,966	470,514	1,335	10,603	2,280	140	9,021	480,977	102.2
	(介 護)	4,431	1,200,109	341	138,794	254	70,192	4,518	1,268,711	105.7
	(認 知 症)	592	100,900	72	10,922	14	2,205	650	109,617	108.6
	年 金	13,961	586,310	337	12,187	947	46,499	13,351	551,998	94.1

(注) 1.生命の金額・件数には、医療、がん、介護、認知症の保障共済金額および件数を含む。

2.医療の金額は治療共済金額を表示している。

3.がんの金額は保障共済金額を表示している。

4.介護・認知症の金額は共済金額を表示している。

5.年金共済の金額は年金年額を表示している。

◆短期共済新契約計画

(単位:万円、%)

年 度		令和7年度実績(A)		令和8年度計画(B)		前 年 対 比 (B/A)	
項 目		件数	掛金	件数	掛金	件数	掛金
短 期	自 動 車	38,154	169,064	39,673	173,368	104.0	102.5
	自 賠 責	23,376		22,494		96.2	
	傷 害	48,566	12,292	46,963	11,886	96.7	96.7
	火 災	2,742	3,734	2,726	3,711	99.4	99.4
	合 計	112,838	185,090	111,856	188,965	99.1	102.1

(注) 1.件数:傷害は被共済者数。

2.傷害は普通傷害共済のみ。

3.自賠責は台数を表示している。

総合損益計画

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	令和7年度実績(A)	令和8年度計画(B)	前年対比(B)-(A)
1.事業総利益	7,265,138	7,192,420	△ 72,717
信用事業収益	3,403,268	3,626,978	223,710
信用事業費用	1,108,759	1,342,831	234,071
信用事業総利益	2,294,509	2,284,147	△ 10,361
共済事業収益	1,552,801	1,481,778	△ 71,022
共済事業費用	213,584	216,689	3,104
共済事業総利益	1,339,216	1,265,088	△ 74,127
購買事業収益	14,554,766	14,312,499	△ 242,267
購買事業費用	11,839,830	11,631,994	△ 207,836
購買事業総利益	2,714,936	2,680,504	△ 34,431
販売事業収益	1,197,334	2,055,318	857,984
販売事業費用	900,136	1,739,571	839,434
販売事業総利益	297,197	315,747	18,549
保管事業収益	18,065	28,757	10,691
保管事業費用	4,144	7,457	3,312
保管事業総利益	13,921	21,299	7,378
加工事業収益	97,791	89,420	△ 8,370
加工事業費用	86,084	79,702	△ 6,381
加工事業総利益	11,707	9,718	△ 1,989
利用事業収益	543,519	572,433	28,913
利用事業費用	333,221	346,920	13,699
利用事業総利益	210,298	225,512	15,214
葬祭事業収益	835,358	891,531	56,173
葬祭事業費用	460,203	501,140	40,936
葬祭事業総利益	375,154	390,391	15,236
宅地等供給事業収益	6,915	10,330	3,414
宅地等供給事業費用	711	830	118
宅地等供給事業総利益	6,204	9,500	3,295
その他事業収益	4,973	5,100	126
その他事業費用	5,454	5,420	△ 33
その他事業総利益	△ 480	△ 320	159
指導事業収入	136,988	133,188	△ 3,800
指導事業支出	134,516	142,358	7,842
指導事業収支差額	2,472	△ 9,170	△ 11,643
2.事業管理費	6,727,814	6,865,511	137,696
(1)人件費	3,791,210	3,835,595	44,385
(2)業務費	517,014	551,446	34,431
(3)諸税負担金	198,902	207,131	8,229
(4)施設費	1,418,829	1,414,050	△ 4,779
(5)その他管理費	33,196	35,438	2,242
(6)本店事業管理費配賦額	768,661	821,849	53,187
事業利益	537,323	326,908	△ 210,414
3.事業外収益	308,074	279,014	△ 29,059
4.事業外費用	101,093	95,590	△ 5,503
経常利益	744,303	510,332	△ 233,971
5.特別利益	251,674	0	△ 251,674
6.特別損失	363,402	24,660	△ 338,742
税引前当期利益	632,575	485,672	△ 146,903
法人税等	138,608	96,333	△ 42,274
当期剰余金	493,967	389,338	△ 104,628

(注)1.単位未満は切り捨てている。従って小計及び合計の金額は一致しない。

2.本店配賦額を含む。

令和8年度 営農センター活動方針・重点事項

共通事項

(1) 新規就農者、認定農業者、集落営農組織、法人組織等の多様な担い手育成を支援し、地域農業の振興と地域の活性化に取り組みます。

○新規就農者育成目標

・中部 1名 ・東部 2名 ・西部 5名 ・河南 2名 ・南部 1名

(2) 各種栽培指導や研修等の実施に取り組みます。また、各営農センター管内の特産物のPR活動を行います。

中部営農センター

(1) 生産コスト削減に向け、生産資材の車取りや大型規格の提案に取り組むほか、土壌分析による適正施肥の提案を行う等、農業所得の維持拡大に取り組みます。

(2) 地域別、品目別の栽培技術の確立や課題解決に向け、農業指導センターとの連携による実証試験等、栽培技術の確立と生産性の向上に取り組みます。

○水稻肥料・除草剤を使用した展示圃及び実証試験の設置

○高温対策として品質向上、安定生産に向けて、土づくり肥料の提案

○特産物栽培拡大に向けた推進活動

(3) 地区担い手協議会と連携し効率的な農地活用を進め、担い手や法人・集落営農組織の運営支援に取り組みます。

○地区担い手協議会の開催

○オペレーター育成支援

(4) 良質米生産に向けた各種研修会を適期に開催し、情報提供などを迅速に行うとともに、安全・安心な米づくりを進めます。また、出向く営農指導活動に取り組み、積極的に現場や組合員宅へ出向きます。

○栽培講習会等の適時開催

○迅速かつタイムリーな「出向く営農相談・指導」の実施

(5) 農業体験・食農教育活動を通じて地域交流を図り、魅力ある農業の情報発信に努めます。

○中部ブロック園芸教室の開催(年間4回開催)

○ラピタ直売会会員の拡大(目標会員数110名)

○地域での野菜作り教室開催(2ヵ所)

○食育活動 ・バケツ稲栽培の実施

東部営農センター

- (1) ブロッコリーの産地拡大を図るため、各関係機関と連携して生産振興に取り組みます。
- 面積拡大 2ha
 - 機能性農産物スーパーブロッコリー「出雲フォルテ」の面積拡大 0.5ha
 - 育苗時の高温対策と根張りの促進資材試験
- (2) 令和5年版「ひらたの柿産地活性化プラン」の「担い手育成」を重点的に検討し産地の維持・拡大を目指します。
- 販売高目標 3億373万円
 - 加工製品製造目標 78.4万個
- (3) 宍道湖西岸国営事業に係る営農計画の実践に向け、宍道湖西岸サポートセンター、営農組織、担い手および関係機関と連携し取り組みます。
- ブロッコリー栽培の推進(西岸地区) 15.5ha
 - 大豆栽培の実践 13.6ha
 - 玉ねぎ栽培の安定化及び販路の確立 5.0ha(玉ねぎ調整施設の活用)
 - 小豆栽培の実践 5ha
- (4) 農産物の生産性を向上させるため、関係機関と連携し、実証圃の設置と普及に努めます。
- ・ブロッコリー ・青ネギ ・玉ねぎ ・小豆
- (5) 地域農業の活性化のため、後継者や新規農業者の育成に取り組みます。
- 水田園芸作物の推進活動
 - 野菜作り講習会の開催
 - ラピタ直売会の加入促進

西部営農センター

- (1) 良質米生産、コスト削減に向けた取り組みを実践します。
- 各種講習会の開催 (育苗講習会・青空座談会2回・刈取講習会)
 - 稲作研究会・受託組合等、組織研修会の開催
 - タイムリーな生育情報の提供
 - 土壌分析による適正施肥の提案
- (2) 『出雲ぶどう産地再生プラン』を実践し、産地の再興を進めます。
- 新規栽培者の推進
 - デラウェア 出荷量目標620t 販売高目標 9億5,000万円
 - シャインマスカット 出荷量目標240t 販売高目標 5億5,000万円
 - 神 紅 出荷量目標 6t 販売高目標 2,500万円
- (3) JAしまね推進作物の面積拡大をはかり、販売高の向上を目指します。
- 菌床生しいたけ……周年栽培の拡大による販売高向上(1億2,000万円)
 - アスパラガス……収量アップによる販売高向上(7,000万円)と新規就農者の推進
- (4) 「年金+α農業のすすめ」としての園芸教室や、食や農業への関心を深めるための食農活動を通じ、魅力ある農業の情報発信に努めます。
- 園芸教室 グリーンセンター大社を活用した野菜果樹教室 年間3回開催
 - 食育活動 米づくり体験(小学校) 3校
 - 野菜づくり体験(幼稚園・小学校) 3校
 - ぶどう体験(小学校) 10校

河南営農センター

(1) 地域特産振興作物への、新規生産者の確保や面積拡大を図るとともに、関係機関と連携し生産技術向上に努め、安定生産による安定出荷を目指します。

○きゅうり 販売高目標 10,200万円 ○多伎いちじく 販売高目標 8,000万円
○西浜いも 販売高目標 2,000万円 ○神門梨 販売高目標 200万円

(2) 「年金+α農業のすすめ」として、「河南ブロック農業入門講座」を開講し、地域農業への関心を高めるとともに、ラピタ直売会への新規加入など新たな販売農家の育成に努めます。

○農業講座開講回数 3回 ○受講者数 延べ60名 ○販売農家数の拡大 5名

(3) 集落営農組織や大型農家と連携し、農地保全と地域農業の安定化を図るとともに、後継者や新規就農者の育成支援に取り組み、地域農業の活性化を目指します。

(4) 農産加工事業について、多伎いちじく部会と連携し良品質原料の確保に努め、需要に応じた商品の充実による取引先との信頼関係の構築を図り、収支改善を目指します。

○加工製品販売高目標 3,966万円

南部営農センター

(1) 営農組合や担い手農家との連携を推進強化し、耕作放棄地の解消及び各営農組合、担い手農家の経営改善を図ります。また、南部の特色のある米の生産・販売を拡大します。

○南部地区の担い手農家、営農組合との研修会や意見交換会を開催
○水稻優良種子の生産
○酒米の品質向上と栽培面積の確保

(2) 優良雌牛の導入や更新による優良子牛の生産に取り組むとともに、WCSの安定的な生産・供給体制の確立と飼料価格高騰対策として粗飼料自給率向上に向けた耕畜連携の取り組みを推進し、耕種農家による転作田の有効利用を図ります。

○子牛 出荷頭数目標 154頭
販売高目標 1億1,592万円
○生乳 出荷量 1,703t
販売高目標 2億5,545万円
○WCS 栽培面積 8.7ha
供給目標 488本

(3) 主力品目である菌床生しいたけについては、各種研修会の開催、巡回指導強化とハウス整備を支援することで、収穫量増加と品質向上に取り組めます。

○菌床数目標 10万菌床 ○生産者増加目標 1名

(4) 中山間地域品目の品質向上と販路拡大に努めます。

○エゴマ 栽培面積 80a
○ブロッコリー 栽培面積 47a
○かぼちゃ 栽培面積 1.02ha
○新たな品目 試験栽培 2品目

(5) 柚子の安定生産に向け、講習会や指導巡回を強化し収穫量の増加を図ります。また、搾汁後の柚子の皮の利活用に向けて、試験開発に取り組めます。

○出荷重量 12,000kg ○果汁生産量 2,340L

JAしまね 出雲地区本部

各部からのお知らせ

営農部

自動車燃料部

生活部

出雲統括支店(金融・共済)

企画総務部



JAしまね 出雲地区本部

生産者の皆さまへ 米価の大幅な下落が懸念されます 再生産可能な農業経営の実現のためには 「需要に応じた生産」が必要です！

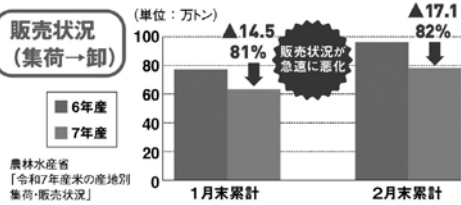
4月から食料システム法がスタートしましたね。
コスト指標[※]によって米価がコスト割れすることは
なくなるの？
※生産段階のコスト指標は20,535円/60kg(税込、令和8年4月時点)



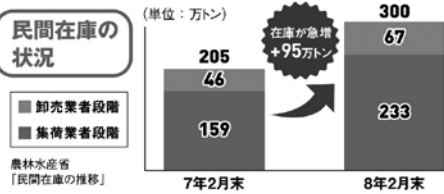
コスト指標は適正な需給環境において機能する
ものです。需要を無視して生産が行われた場
合、再生産可能な価格を下回ってしまう懸念が
あります

令和7年産米の販売・在庫状況は悪化しています

販売状況
(集荷→卸)



民間在庫の
状況



一方で、
業務用銘柄は
堅調

令和8年産米の過剰作付により、米価が大幅に下落する可能性が高まっています

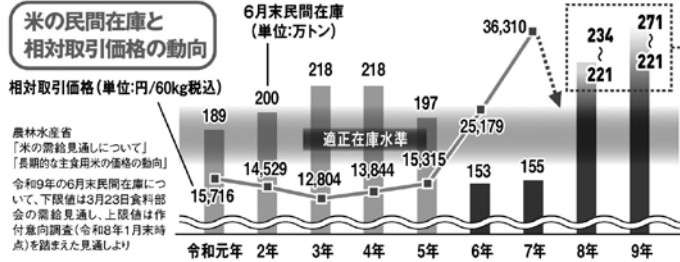
令和8年産の作付意向

政府の需給見通し	711
1月末時点作付意向	732※

需給見通しを21万トン上回る

農林水産省「令和8年産第1回中間的取組状況(1月末時点)」

米の民間在庫と
相対取引価格の動向



備蓄米の買戻し
(59万トン)を実施しても、適正
在庫水準に収まらない恐れ

再生産可能な農業経営の実現のためにチェック！

☑ ご自身の産地の
販売・在庫状況を
確認しましたか？

島根県の主食用米の販売・在庫状況(2月末時点)

販売状況		在庫状況(出荷+販売段階)	
数量	前年同月比	数量	前年同月比
7.2	54%	26.1	154%



農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注) 在庫状況は1年古米を含めた出荷+販売段階の数字

☑ 主食用米を昨年通り、
または増やして作付けしようと
していませんか？

➤ 販売・在庫状況は全国的に悪化していま
す。事前に販売先を確保していますか？

➡ 販売先が確保されていない場合は下記に取り組みましょう。

- ① 備蓄米
- ② 水田活用米穀(加工用米、輸出用米、米粉用米、飼料用米等)
- ③ ブレンド米や業務用米などニーズの高まっている米
- ④ JAとの出荷契約や販売先との事前契約などの安定的な取引

☑ 需要のある水田活用米穀、麦、大豆の作付けを減らそうとしていませんか？

➤ 減らした場合の実需との取引やご自身の農
業経営への影響を検討しましたか？

➡ 失った需要は簡単には戻りません。産地交付金などの政策支援を最大
限活用し、水田活用米穀(加工用米、輸出用米、米粉用米、飼料用米等)、麦、大豆等
に取り組めば、所得はしっかり確保できます。

生産者ひとりひとりが「需要に応じた生産」に取り組みましょう

農業倉庫でのフレコン出荷を行っています

1. フレコン出荷のメリット・デメリット

メリット

(1) 労力軽減

紙袋に米を詰めて口を結ぶ作業、運搬・積み上げ作業の効率化が図られ、出荷作業による身体への負担が軽減されます。

(2) 出荷コスト軽減

出荷本数のフレコン代金を助成します。

デメリット

米をフレコンに詰める作業と計量をするための機械の導入、移動・運送をするためのフォークリフトなどの設備が必要となります。

2. フレコン出荷ができる農業倉庫

西部倉庫・常松倉庫・平田中央倉庫

3. フレコン出荷の方法

- (1) フレコンに玄米を風袋込みで1,090kgに重量調整して出荷してください。
- (2) フレコン内の品質は均一にしてください。乾燥機ごとにフレコンへ詰めてください。
- (3) 端量は、紙袋で出荷してください。
- (4) 庭先集荷ならびに本人持ち込みによる出荷をお願いします。

4. フレコン出荷に係る経費

- (1) 庭先集荷（諸経費を含む） 4,002円(税込)／フレコン1本
 - (2) 本人持込み(諸経費) 917円(税込)／フレコン1本
- ※令和6年産は1本あたり2,200円(税込)を助成しました(但し加工用米を除く)。



【詳しくは、米穀課0853-21-6044、又は最寄の各営農センターへお問い合わせ下さい】

ブロッコリー栽培始めませんか？

今、出雲のかあちゃんブロッコリーがアツいんです！！

かあちゃんブロッコリーとは....？

約30年前に平田地区で栽培が開始された、
歴史ある出雲の特産品です。



なぜ今、ブロッコリーがアツいのか？

販路が確立されている！

生産者の長年の努力により「かあちゃんブロッコリー」としてブランドを確立
地元をはじめ関西の生協、高級スーパー、百貨店など多くの市場に出荷

初心者でも安心のサポート体制！

栽培指導が充実

定期的に栽培講習会を
開催し、皆さんの相談
に応じます。

畝立作業の委託、移植機の
レンタル事業体制が確立

ブロッコリー部会では、畝立て作業の委託、移
植機、管理機のレンタルを行っています。現在
収穫以外全ての作業が機械で行えます。

収穫後の調製作業不要

JAに共選場があるため、
集荷所に持っていくだけで
OK

補助事業、転作奨励金などで
新規就農者を応援！！

JA、県共に重点推進品目なので、補助事業
などの支援体制も充実しています。

スーパーブロッコリー「出雲フォルテ」に取り組んでいます！

抗酸化作用、解毒作用があるといわれる「スルフォラファン」を従来の
ブロッコリーの2.5～3倍(収穫時)含んでおり、『出雲フォルテ』（商標
登録取得)の名称で販売しています。

美味しまね認証取得で産地のレベルアップ！！

食卓に安心安全を届けるべく平成30年度に美味しまね認証を取得し、
産地全体で品質向上に取り組んでいます。

お問い合わせ先 各営農センター又は、 総合指導課 Tel 0853-21-6038

アスパラガス栽培について

アスパラガス あなたも産地を盛り上げよう!!



僕たちと一緒に
アスパラを作ろう!

若手生産者多数
勢いのある
部会です!!

おすすめ
ポイント 



一度定植すると10年以上収穫が可能!

軽量で高単価取引が期待できる!

JAの調製施設があるから選別が楽!

～栽培スケジュール～

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目					▲ 定植							
2年目 以降			■■■	■■■	■■■	■■■ 収穫	■■■	■■■	■■■	■		

お問い合わせ先 各営農センター又は総合指導課 0853-21-6038

神在ねぎ栽培について

こだわり白ねぎ 神在ねぎを栽培しよう!!

おすすめ ポイント



普通の白ねぎとは違う!!
葉っぱも丸ごと
食べられる柔らかさ!
熱を通すとトロっとした食感!!

葉まで食べられる白ねぎのため高単価!

冬場の収入確保に最適!

播種定植は貸出器具あり!

講習会の開催で栽培指導体制が充実!

品種	3月	4月	5月	6月	～	9月	10月	11月	12月	1月	2月
神在ねぎ	○○○	—△	△△—					□□□	□□□	□□□	□□□

○:播種期 △:定植期 □:収穫期



お問い合わせ先 各営農センター又は総合指導課 0853-21-6038

JAしまねラピタ農産物直売会

新規会員募集中

JAしまねラピタ農産物直売会では、会員の皆様が作った『安全・安心・新鮮』な地元農産物をラピタ全8店舗の農産物直売コーナーで販売しています。ご自身で作った自慢の農産物や、オリジナルの加工品、切花をぜひ販売しませんか？

直売会の詳細

令和8年3月現在、583名の会員数で、個人の方から集落営農組織の方まで、年齢層も幅広く加入いただいています。野菜や、漬物、梅干、ジャムなどの加工品（保健所の許可や届出が必要）、切花や枝物（花の木等）も販売出来ます。

より良い商品作りのために開催する栽培講習会など指導体制も充実しています。切花部会・加工部会・青年部があり、各種講習会も受講出来ます。



入会の条件

JAしまね出雲地区本部に出資(1,000円/1口以上)があり、原則として出雲地区本部管内に居住し、年会費3,000円をお支払頂きますと入会出来ます。詳しい内容については、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。



お手続きについては、各地区の営農センターまでお問い合わせ下さい！

会員登録には7日～10日程かかりますので、作付けされている方はお早めにご連絡下さい。

お問い合わせ先

各営農センター又は、
営農部 総合指導課

TEL 21-6038

モロヘイヤ・あすっこ栽培について

モロヘイヤ・あすっこを栽培しよう!

軽量でつくりやすい野菜栽培を始めませんか?
栄養分が豊富で健康野菜として注目されています。

モロヘイヤ



- 軽量品目のため女性の方でも取り組みやすいです。
- 水を好むため水田転作で栽培可能です。
- 栽培技術が確立されていて露地で栽培できます。
- 暑さに強く、夏場に長く収穫できます。

	5月	6月	7月	8月	9月
作 業	○	△			

○:定植 △:摘芯 □:収穫

あすっこ



- 長期出荷可能のため冬場の収入源になります。
- 全作業時間の7～8割が収穫・調整作業です。
- 冬季の栽培のため少ない防除回数で済みます。
- 他品目と比べ労働時間が少ないです。

作型表

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
早生(前期)	○		△					
早生(後期)		○		△				
中 生		○				△		

○:定植 △:摘芯 □:収穫

お問い合わせ先 各営農センター又は総合指導課 0853-21-6038

島根県養鶏協会

みつけてにゃ！
やっぱリイイネ！
しまねのたまご



みなさまとの約束

- 1 生産工程管理（島根県の「美味しまね認証」）に努め、安全で美味しい卵を提供しています。
- 2 鶏の快適性に配慮した飼育を実現するために、国の「新たなアニマルウェルフェア指針」の導入に努め、今後とも適正な価格で供給して参ります。

※県内の養鶏農場が団結し、安全・安心な鶏卵の生産と供給する態勢を全国で初めて取り組んでいます。

※その一例として、島根県は全国有数の渡り鳥の飛来地であるにも関わらず、鳥インフルエンザの発生予防の徹底化に取り組んでいます。

※また、「福祉施設」や「子ども食堂」等へ鶏卵を贈るなど、地域社会へ貢献する活動も積極的に取り組んでいます。



JAコネクトとは、

JA と 組合員 の デジタルコミュニケーションツールです。
組合員や生産部会等のグループメンバーの**スマホへ情報を発信**したり、
イベントへの**出欠報告**やアンケートなどの**とりまとめ機能**も備えています。



情報発信

- 営農情報
- 総会案内
- お知らせ など

とりまとめ

- 出欠確認
- 意向調査 など

スマホへ発信



スマホで回答



FAXへの同時送信も可

簡単！



便利！



組合員



いつでも、どこでも確認できる！

いつでもどこからでも最新情報を確認いただけます。圃場においても、リアルタイムでお知らせを取得することができ、安心です。



会議への出欠など様々な報告もスマホで手軽に完了！来店や郵送の手間がかりません。



情報の管理が簡単に！

過去のメッセージや送信書類はJAコネクト内に保存されています。必要時に検索することで簡単に情報を振り返ることができます。



必要な資料を選んで印刷・FAX転送も可能です。紙代・トナー代の節約につながります。

農業者と農作業をしてみたい人を 繋げるアプリ



利用方法 ダウンロード方法

AppStore または GooglePlay にアクセスし、
daywork で検索してアプリを
ダウンロードしてください。

iPhone/iPad



Android



JALしまね 出雲地区本部 ×



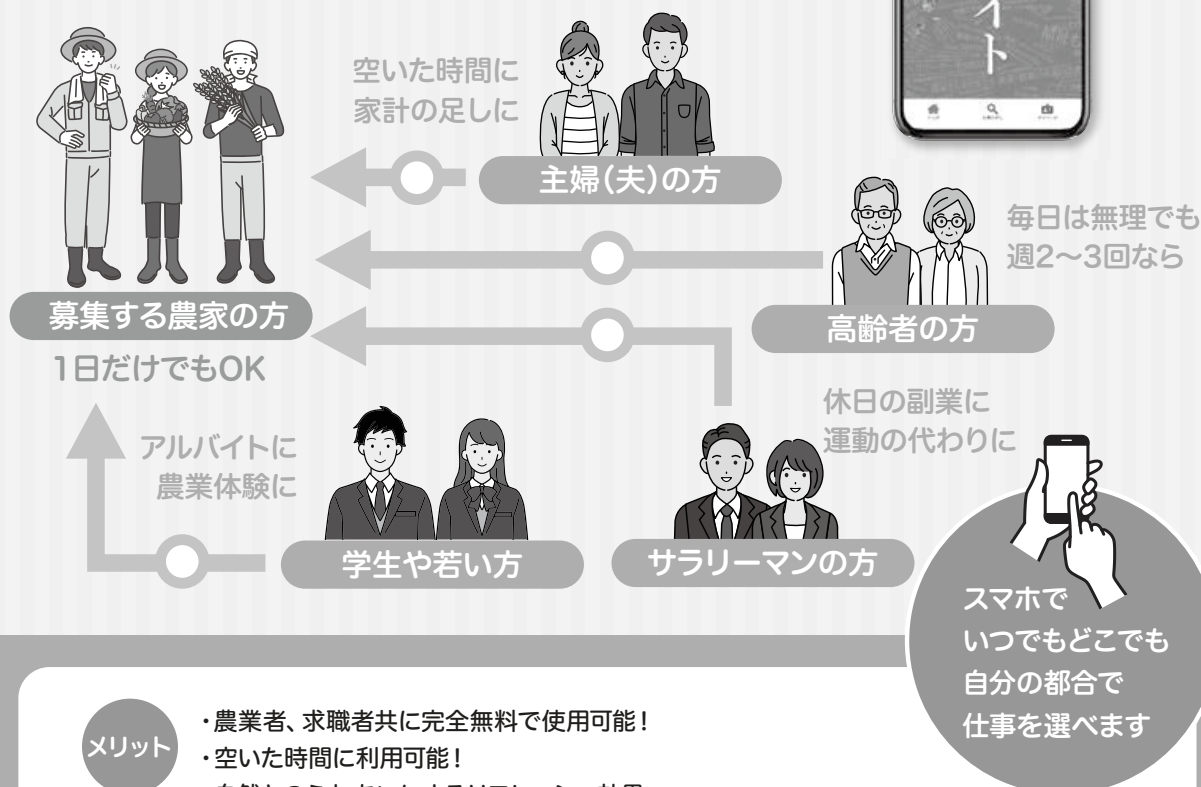
1日バイトアプリ デイワーク

daywork

出雲で農作業アルバイトを してみませんか？

初心者OK!短時間でもOK! 1日のみでもOK!

老若男女問わずどなたでもOK!



メリット

- ・農業者、求職者共に完全無料で使用可能!
- ・空いた時間に利用可能!
- ・自然とのふれあいによるリフレッシュ効果
- ・多様な人材(副業をしたい社会人、主婦(夫)、学生、シニア層など)が実際に活躍中!
- ・アプリ内のメッセージでやりとり可能なので、急な予定の変更があっても安心◎

紹介例

お仕事の例(募集例は様々です。時期や農家さんによって募集は異なります。)

例えば、ぶどうのお仕事には摘粒・摘果・袋掛け・収穫・出荷調製作業など時期によって様々な仕事があります。老若男女問わず、農業未経験者から経験者の方まで幅広くできるお仕事があるのが農作業の特徴です。自分の働き方に合ったお仕事を探してみましょう。

お問い合わせ

アプリのご不明点はアプリ内のメッセージ「デイワーク運営」からお問い合わせください。

JALまね出雲地区本部は、本アプリを紹介しております。
農家と求職者のトラブル・お問い合わせに関して、JAは責任を負いかねますので予めご了承ください。

JALまね 出雲地区本部 × 1日バイトアプリ デイワーク daywork

📢 グリーンセンター各店 休店日・営業時間のお知らせ

日頃よりJAしまねグリーンセンターをご利用いただき、
誠にありがとうございます。
店舗の休店日および営業時間が新しくなりましたので
お知らせいたします。

📅 各店の休店日(毎週)

火曜日

出雲店

水曜日

南店

水曜日

ひらた店

木曜日

大社店



令和7年度営業時間

営業時間



4月～10月



8:30 ～ 18:00



11月～3月



8:30 ～ 17:00



お客様へのお願い

お求めの店舗が休日の場合は、誠に恐れ入りますが、営業している
近隣店舗をご利用いただきますようお願いいたします。

JAしまね出雲地区本部

Rinnai

今うわさの
「乾太くん」
試してみませんか？

1週間

無料貸出し

実施中！

ガス衣類
乾燥機

はやい
乾太くん



オール電化の
ご家庭でも
ご利用可能！



やっぱり
速く乾いて
嬉しいね！

お問合せは：島根県農業協同組合 出雲地区本部 LPガスセンター
TEL：0853-28-1234



速く乾く、心地よく乾く。——

実際に「乾太くん」を使用して、

その使い心地に 99.4%の人が「満足」と実感しています。



快適な仕上がり！

太陽よりも、
ふんわり仕上がる。



スピード乾燥で、家事の時短化＆低コスト！

洗濯物が、1時間で乾く。
すぐ乾くから、低コスト。

6kg、1回たったの 83円
9kg、1回たったの 128円

生乾きカット！

パワフル温風で、生乾き臭を除去。

「乾太くん」なら
菌の減少率

99.9%^{※1}

※1 試験機関：愛知学院大学薬学部 試験対象：モラクセラ・オスロエンシス
試験方法：面付着布の生菌数測定。洗濯液中で菌を洗い出し、寒天平板にて培養。

シンプルで使いやすい！

使いやすさを標準装備したスタンダータイプ。

見やすく使いやすい、操作パネル



花粉・黄砂の季節も安心！

花粉中のアレル物質を軽減。

乾燥前の花粉
顕微鏡観察



ペットの毛が、キレイに取れる！

なかなか取れないペット
の毛もキレイに取れます。



どこにでも設置可能！

出雲地区本部 JJA給油所 営業時間・定休日のご案内

セルフ 北部SS

時間/7:00~20:00
住所/出雲市高岡町614-1
TEL/23-0740



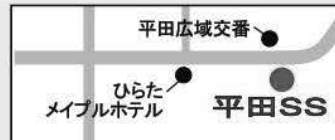
セルフ 南SS

時間/7:00~20:00
住所/出雲市塩冶町990
TEL/22-0373



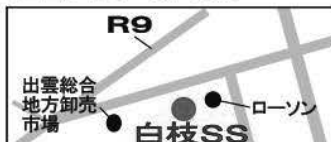
セルフ 平田SS

時間/7:00~20:00
住所/出雲市平田町2487-8
TEL/62-1050



白枝SS 休店中

住所/出雲市高松町675-1
TEL/28-0263



佐田SS

平日/7:00~18:30
祝日/8:30~18:00
定休日/日曜日
住所/出雲市佐田町反辺1589-1
TEL/84-0413



多伎SS

平日/7:30~19:00
日・祝/9:00~18:30
定休日/月曜日
住所/出雲市多伎町多岐474
TEL/86-9100



湖陵SS

平日/7:30~19:00
日・祝/9:00~18:30
定休日/火曜日
住所/出雲市湖陵町差海710-2
TEL/43-3476



浜山SS

平日/7:30~19:00
日・祝/9:00~18:30
定休日/木曜日
住所/出雲市大社町北荒木938-2
TEL/53-4355



毎月5日・25日は
おさいふカードポイント



10倍

ラピタ
値引き
バーコード

ラピタ全店で2,000円以上お買上げごとに
ガソリン値引き券を発行いたします。
発行日は毎月(1回)ラピタチラシにて発表いたします。

おさいふカード
会員様
限定

ラピタ
ビンゴカード
JA-SSご利用で
ポイントもらっちゃおう!

土・日(祝日)

単価優遇割引

(当月の給油量に応じて翌月10日から割引 ガソリン・軽油)

自動車優遇会員

(出雲地区本部で自動車ご購入・車検を受けられた方)

全油種 2引き
円/ℓ

1~3引き
円/ℓ

車検まで 2引き
円/ℓ

JAしまね
出雲地区本部
石油課

(セルフ)
北部SS 南SS 平田SS

(ミニセルフ)
白枝SS 佐田SS 多伎SS
湖陵SS 浜山SS

代表電話
TEL:0853-28-1280

JA SS 【燃料を安く給油できるお得な情報】



【その1】自動車優遇会員制度

J A 自動車課で購入した車や、車検をした車は自動車優遇会員としてガソリン・軽油の給油単価が2円/L安くなります。

J A-S Sの現金会員または口座引き（給与引き含む）給油カードで給油の方で、車購入または車検実施時に自動車課が発行した証明書類を持ってS Sにて手続きいただくと次回車検時までの間、安く給油できます。

（注意：クレジットカードでのお支払いの方は対象となりません）

【その2】優遇単価割引制度

出雲地区本部管内のJ A-S Sにて1ヶ月に給油したガソリン・軽油（配達除く）の積算数量に応じて値引きがあります。

- ・月間 **60** L以上で翌月（注意：翌月10日～翌々月9日）**1** 円/L 値引き。
- ・月間 **120** L以上で翌月（同 上）**2** 円/L 値引き。
- ・月間 **180** L以上で翌月（同 上）**3** 円/L 値引き。

こちらもJ A-S Sの現金会員または口座引き給油カードで給油の方に限りです。（クレジット不可）

そんなに給油しないと言われる方ご注目！！



★現金会員カードを家族で別々にお持ちの方へ

⇒ 家族でカード番号を1つにまとめることで家族の合計給油数量で値引きが可能です。カードは別々にお持ちいただけます。詳しくはS S店頭にて確認ください。

★口座引きカードをお持ちの方へ

⇒ 口座引きカードをご家族の人数分発行することが可能です。一つの口座からの代金決済となりますが、これで家族の合計数量で値引きが可能です。

【その3】ラピタコラボのバーコード値引き

毎月、月末の金・土・日曜日（月によって変更あり）にラピタ各店において2,000円以上/1回買い物すると、S Sで1回限り利用できる**3** 円/Lのバーコード値引き券がもらえます。

【その4】土日・祝日値引き

毎週土・日曜および祝祭日はガソリン・軽油・灯油 **2** 円/L 値引きです。

【その5】「おさいふカード」ポイント

毎月5日と25日は「おさいふカード」ポイント**10** 倍デーです。

これらの値引きの仕組みを上手に利用すると最大**10** 円/Lもの値引きとなります。

LINE 会員募集中！！

令和8年5月20日時点の会員数は7,788名です。

【会員登録のメリット】

- その1：価格改定情報等をいち早く案内します。
- その2：会員様限定のお得なイベントも予定しています。
- その3：月替わりメニューで洗車割引クーポンが使えます。
- その4：各種キャンペーン情報を掲載します。
- その5：自動車の中古車情報なども適時案内します。



JA^{SS} JALしまね出雲地区本部SS

LINE 公式アカウント

会員募集中!

LINE 登録していただくと

- お得なキャンペーン・イベント情報提供!!
- 洗車がお得!! (毎回使えるクーポン券)
- 店頭価格・営業時間・休店日情報を提供!!

友だち追加方法

LINEの「友だち追加」から
右のQRコードを読み込んで
今すぐ登録!!

今なら、会員登録で
ボックスティッシュ1箱プレゼント!!

キャッシュレス決済！！

各種クレジットカードはもとより、QRコードでの決済が可能です。



ご利用可能な決済サービス



JA自動車からご案内！

自動車優遇会員制度(法人除く)

☺自動車購入・車検で次回車検まで
ガソリン・軽油が2円/ℓ引きに!!

※一部支払い方法によっては対象外となりますので、詳しくはJA-SSへ
お問い合わせください

JAなら
こんなに
お得!!

さらに!!
プラス

★総合ポイント制度(車検諸費用は除きます)

お得

①

おさいふカードポイントが付きます。

(組合員)車両購入 1,000円 1ポイント	車検・整備 200円 1ポイント
(一般)車両購入 1,000円 0.5ポイント	車検・整備 200円 0.5ポイント



★車検早期予約制度

お得

②

車検満了日より30日以前にご予約いただくと、
おさいふカードポイント5倍!



★ガソリン券進呈(※得コース、法人は除きます)

お得

③

ご自身でJA自動車課まで『持込み・持ち帰り』車検の場合



★JAマイカーローン利用で車両購入いただくと

お得

④

おさいふカードポイント5倍!



～新車・中古車 全てのメーカー車種のご相談をお受けいたします。～

◆各種、お買い得中古車を取扱いしています。





BBQビアガーデン
ラピタ屋上

星空 ガーデン

2026

Lapita
Beer garden



当日ラピタで購入した食材
持ち込みOK!!

※購入レシートを確認させていただきます。

2026 4/25(土) → 10/31(土)
17:30 ▶ 21:00

【ラストオーダー】食べ物 20:30 ドリンク 20:45

ラピタ本店 屋上

お席はテント席、座敷席、アウトドア席、
オープン席より選べます。
雨天の場合はテント席のみご利用が可能です。
※炭火利用はテント席以外となります。

定休日 / 水曜日 (4/29, 5/6, 8/12, 9/23は開催)
※詳しくはHPをご覧ください。



今年はコレ!!

食材持ち込みプラン

中学生以上 2,000円

小学生 1,000円

※バーベキュープランまたは
キッズプランをご利用にな
らない方はこちらのプラン
のご案内となります。
※小学生未満のお子様は持
込みプランの料金は無料です。
※持ち込みプランにはバーベ
キューコンロ、食器、焼肉の
タレがセットになっています。

アルコール飲料

飲み放題

お一人さま

+ 2,000円

※各種プランは1人前料金です。 ※写真はすべてイメージです。 テント内ではコンロをご利用いただく形式となります。

予約は
こちらから
24時間自動受付

インターネットでの予約は「ぐるなび」から ▶

検索はこちら ▶ ラピタビアガーデン



お電話での予約・お問い合わせ先

050-5486-3296 (9:00-17:00 受付)

※17時以降は、お電話での予約・お問い合わせはできません。



2 ラピタ
組合員の皆様へ

出雲の街並み × 星空ガーデン = 最高の時間。

星空ガーデン
LAPITA

出雲の町並みを眺めながら、外で過ごす贅沢な時間。開放感あふれる空間で味わう出来たての美味しさと冷たい一杯。友達とも家族とも、何度でも来たいくなるビアガーデン。

バーベキュープラン

事前予約あり

3,000円

当日料金

3,500円

キッズプラン
小学生以下

事前予約あり

1,700円

当日料金

2,000円

Lapita Beer garden

単品メニューもあります
(からあげ、枝豆等)

各種 **500円**~

アルコール飲料 飲み放題

お一人さま **+2,000円**

◆生ビール

- ・アサヒ
- ・麒麟
- ・サントリー

◆ハイボール

◆レモンサワー

◆芋・麦焼酎

◆島根ワイン(赤・白)

◆地酒3種

- ・旭日酒造
- ・板倉酒造
- ・富士酒造

各種 その他

すべてのプランに
島根県産きぬむすめ使用

ご飯・ソフトドリンク飲み放題付!

ご利用にあたり

※予約料金は、ご利用日前日の正午までとなり、それ以降のご予約は、当日料金となります。

※予約の変更やキャンセルは、ご利用日の前日正午までとなり、それ以降はキャンセル料がかかります。

※雨天、満席時の場合は、入場を制限させていただく場合がございます。

※台風などの悪天候により営業を中止する場合がございます。

※一度ご入店いただいた後はいかなる理由があっても返金は致しませんのでご了承ください。

※お子様連れのお客様は、お子様に事故が起こらないよう見守り下さい。

※写真はすべてイメージです。

※炭火利用はテント席以外となります。

※写真はすべてイメージです。

飲酒運転・20歳未満の方の飲酒は、法律で禁止されています。

The Kids

雨でも広々遊べる
室内遊園地です

出入り自由! 飲食持ち込みOK!

保護者同伴 0歳のお子様は無料

平日 お子様 1日 **1,000** (税込) 円

ナイトパック(16:00~)
お子様・保護者様とも お1人様 **500** (税込) 円

休日※ お子様 3時間 **1,200** (税込) 円
1日 **1,500** (税込) 円

ナイトパック(17:00~)
お子様・保護者様とも お1人様 **500** (税込) 円

※土日祝、国民の休日および保育園・幼稚園・学校が長期休暇となる春・夏・冬休みの期間など当施設が定める特定日が休日扱いとなります。

全日 保護者様 1日 **500** (税込) 円

おためしパック お1人様 30分 **500** (税込) 円

JAしまねラピタ本店

営業時間 平日 10:00-18:00 (最終受付17:30)
休日 10:00-19:00 (最終受付18:30)

いつでもどこでもスマホでオトクに!

ラピタ公式アプリ

ご登録は、下記QRコードから

Google Play

App Store




ラピタアプリを使ってみよう

 イベント その日のお得な情報をご確認いただけます。	 お知らせ お得な情報をプッシュ通知でお知らせします。	 クーポン アプリ会員だけのお得なアイテム、対象商品をお値引きします。	 レシピ 旬の食材を使ったレシピを動画でご覧いただけます。	 チラシ 売り出し期間中のチラシをご確認いただけます。	 ポイント 残高照会 いつでも残高確認(前日分)、履歴確認(過去1ヶ月)ができます。
--	---	---	---	---	--

ラピタアプリ登録の方

毎週金曜日

食品レジにて1,000円以上のお買上げのお客様は
該当日のクーポンをご確認下さい

ラピタアプリで
各日50ポイント
もらえる!!
もらおう!!



ラピタ公式 インスタグラム



@LAPITA_JA.IZUMO

ラピタのお得な情報を発信しています!



組合員の皆様へ

葬祭定期積金 メモリア

JALしまね 出雲葬祭センター 葬祭定期積金会員

「メモリアの会」 会員募集中

この定期積金契約をされますと「メモリアの会」会員となります

※但し、1会員1契約とさせていただきます

●掛 金・・・毎月3,000円以上1,000円単位
●積立期間・・・5年

●払込方法・・・貯金口座から自動振替させていただきます。

●満 期 日・・・満期受け取り金は、定期預金（1年ものスーパー定期）へ自動振替させていただきます

※中途解約の場合には通常の金利を適用いたします

メモリアの会会員特典 メモリアの会会員さまの
同居ご家族も特典をご利用いただけます

特典1 葬儀料金のうち、祭壇料（利用料）を 10%割引いたします
組合員価格からさらに

特典2 すべての葬儀において、マイクロバス又は 10,000円割引いたします
ジャンボタクシーを利用されると料金から

特典3 定期積金の満期（5年）が 継続（永久）会員になります
到来した方は

特典4 本定期積金は葬祭費用に充てることができます

退会 掛金の遅延による停止、または中途解約と同時に
に会員退会となり、会員特典は受けられません。
※改めて定期積金契約と入会申込書を記入の上、
入会とします



お申し込み・お問い合わせは

JALしまね 出雲地区本部 各支店へ



JA





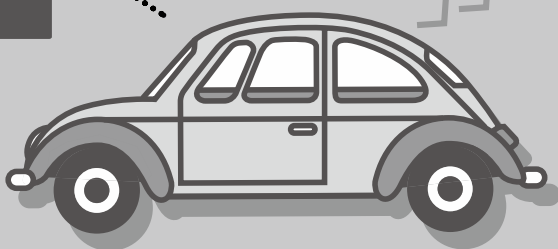
子育て応援宣言
KO S O D A T E O H E N S E N G E N



JALしまね

マイカーローン

好きな車に乗ろう



他でお借入中の残価設定型の自動車ローンも借換可能です

固定金利型

どなたでも 年**2.4%**※

変動金利型

どなたでも 年**1.95%**※

下記のいずれかに該当する方は、組み合わせで最大 年**0.3%**金利引下げ!

年**2.1%**※

年**1.65%**※

※別途保証料がかかります。詳しくは裏面をご確認ください。

金利引下げ対象	1	JAしまねで給与または年金の受取指定をいただいている方	2	子育て応援サービス対象の方 対象は、ご融資実行時に18歳未満もしくは満18歳となった最初の3月31日を迎えるまでのお子様がいらっしゃる方です。	3	JA ネットバンクをご利用の方
	4	JA カードをご利用の方	5	カードローンをご利用の方	6	JA の正組合員の方、正組合員のご家族の方

当座貸越型 「ジョイカード」 変動金利型 年**1.95%**

変動金利型は、基準金利の変動によって返済額も変更になりますので、あらかじめご了承ください。金利は令和8年4月1日現在のものです。



JAネットローン
マイカーローン

詳しくはホームページで
ご確認ください▶
<https://ja-netloan.jp/>



詳しくは JA しまね HP をご覧ください
JAしまねマイカーローン 🔍

令和8年4月1日現在

令和8年4月1日現在

JAマイカーローン商品概要

	ジョイ	ジョイクラブ	ジョイカード
貸付方式	証書貸付型 (借入金額・期間が確定しており、計画的にご利用いただけます)		当座貸越型 (ご契約金額の範囲内で繰り返しご利用いただけます)
ご利用いただける方	当JAの組合員の方		
	●お借入時の年齢が満18歳以上75歳未満であり、完済時の年齢が満80歳未満の方。また、お借入時の年齢が71歳以上の方は当JAに農産物代金の入金・年金振込指定・給与振込のいずれかがある方に限ります。 ●前年度税込年収(自営業の方は前年度税引前所得)が150万円以上ある方。ただし、新卒内定者で、入社月の6ヵ月前以降に借入申込みいただく場合を除く。 ●原則として、居住実態が確認できる方 ●当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方 ●その他、当JAが定める条件を満たしている方	●お借入時の年齢が満18歳以上であり、完済時の年齢が満76歳未満の方。ただし、当JAと農産物代金の入金・年金振込指定・給与振込のうちいずれかのお取引のある方は、お借入時の年齢は満80歳未満となります。 ●前年度税込年収(自営業の方は前年度税引前所得)が100万円以上ある方 ●当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方 ●その他、当JAが定める条件を満たしている方	●ご契約時の年齢が満20歳以上満66歳未満の方 ●自営業者(農業者は除く)は対象外とする ●前年度税込年収(農業者の方は前年度税引前所得)が150万円以上ある方 ●原則として、居住実態が確認できる方 ●当JAが指定する保証機関の保証を受けられる方 ●その他、当JAが定める条件を満たしている方
借入期間(契約期間)	6か月以上15年以内(新卒内定者に限り、初任給の支給月まで据置期間を設けることができますが、最長6か月以内とします。)	6か月以上15年以内(お借換を含む)	契約日から1年後の応答日の属する月の15日までただし、JAが契約更新に支障がないと判断した場合は、さらに1年間延長するものとし、以後も同様とします
借入金額(契約金額)	5万円以上1,000万円以内	5万円以上500万円以内	10万円以上300万円以内
担保	不要です		
保証人	原則不要です(島根県農業信用基金協会が保証いたします)		
保証料	金額・期間に応じた保証料(年率0.40%~0.65%、分割後払い方式)をお支払いいただきます。	金額・期間に応じた保証料(年率0.80%~1.40%、分割後払い方式)をお支払いいただきます。	毎月、ご利用残高、期間に応じて、保証料(年率0.40%~0.65%)を残高に元加されます。
手数料	不要です		
その他	●お申込みに際しては審査がございます。審査の結果によっては、ご希望に添いかねる場合がございますので、予めご了承ください。 ●返済額の試算については、JAの窓口で承っております。		

その他の商品、商品詳細につきましては、お近くのJA窓口へお問い合わせください。
上記の他に三菱UFJニコス(株)、(株)トワライズ保証の商品もございます。詳細についてはJAの窓口にお問い合わせください。

JAマイカーローンご相談シート

お客様のご希望にあわせて、ご返済プランをシミュレーションいたします。あわせて、お申し込み時に必要な書類についてもご説明します。

●お借入のシミュレーション

お客様のご希望

お借入の金額(1,000万円以内)	万円
(うち、ボーナスによる特定月返済分(50%以内))	万円
お借入の期間(6か月以上15年以内) (お借換の場合は、現在ご利用中の自動車資金の残存期間内。)	か月

お借入の利率(変動金利の場合は当初金利)

%

シミュレーション結果

毎月のご返済金額	円
特定月の増額分	円
ご返済の総額	円
保証料	円
印紙代	円

ご相談いただきありがとうございます。
お申し込み時にお客様に
ご用意いただく書類等については、
下記をご確認ください。

①お使いみちの確認書類(見積書等)

②年収の確認書類(源泉徴収票等)

③運転免許証

④お勤め先等が確認できる書類等※

※お勤め先等が確認できる書類の例

A群:「源泉徴収票」、「住民税決定通知書」等
B群:「マイナポータル(マイナ保険証)画面」、
「資格情報のお知らせ」、「健康保険の資格確認書」等

A群、B群からそれぞれ1通以上をご提出ください。

その他、上記以外の書類を提出いただく場合があります。

{ }

◇シミュレーションの内容は、お客様のご希望を基に計算した参考値です。また、ご融資を約束させていただくものではありません。

詳しくはお近くのJAまでお問い合わせください

快適な住まいづくりに、よりそう。

JAリフォームローン

固定金利 年2.30%

店頭標準金利

年2.60%より

(令和8年5月1日 現在)

年0.30%引下げ

下記の **金利引下げ条件** を必ずお読みください。

※お申込時、またはご融資時いずれかの金利条件をお選びいただけます。
(ただし、お申込時の金利条件は、申込受付から1年以内の実行に限りお選びいただけます。)

金利引下げ条件

以下の①～③のいずれかを満たす方

- ① JA住宅ローンをご契約されている方 … 年0.20%
- ② 給与振込を指定されている方または新たに指定される方 … 年0.10%
- ③ 子育て応援サービス対象の方 年0.10%
※対象は、ご融資時に18歳未満もしくは満18歳となった最初の3月31日を迎えるまでのお子さまがいらっしゃる方
- ④ JAカードローンをご利用の方 … 年0.10%
- ⑤ JAカードをご利用の方 … 年0.10%
- ⑥ JAネットバンクをご利用の方 年0.10%
- ⑦ 石州瓦および県産材使用住宅、長期優良住宅、低炭素住宅、省エネ住宅、ZEH住宅 … 年0.05%
- ⑧ JAの正組合員、正組合員のご家族の方 … 年0.10%



©よりぞう



JALしまね

お問い合わせはJA窓口または当JAホームページへ

JALしまね

「JAとのお取引はこれから」というお客さまもお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となる場合がございます。)

JAリフォームローン（固定金利タイプ）商品概要

（令和8年5月1日 現在）

商 品 名	JAリフォームローン（島根県農業信用基金協会保証）
ご 利 用 い た だ け る 方	○当 JA の組合員の方。 ○お借入時の年齢が満 18 歳以上 66 歳未満であり、最終償還時の年齢が満 80 歳未満の方。 ○原則として、前年度税込年収が 150 万円以上ある方（自営業者の方は前年度税引前所得とします。）。 ○原則として、勤続（または営業）年数が 1 年以上の方。 ○団体信用生命共済（保険）に加入できる方。（ただし貸付期間が 10 年以内の場合はこの限りではありません。） ○当 JA が指定する保証機関の保証が受けられる方。 ○その他当 JA が定める条件を満たしている方。
お 使 い み ち	○ご本人またはご家族が居住するための既存住宅の増改築・改装・補修資金およびその他住宅に付帯する施設等の住宅関連設備資金および空き家解体を目的とした資金を対象とします。（住宅関連設備の例） ①門、塀、車庫、物置、宅地内（私道を含む。）の舗装 ②宅地内の植樹、造園、シロアリ駆除 ③システムキッチン、ユニットバス、システムタイプの洗面化粧台 ④冷暖房設備、給排水施設、家具・照明器具などのインテリア ⑤マンションの外壁、給排水施設などの共用部分の修繕工事負担金 ⑥太陽光発電システム ⑦耐震改修工事費 ⑧融雪設備機器の購入・設置工事費 ⑨外壁の塗装、屋根の塗装・葺替え、雨樋の取替え ⑩土地および中古住宅の購入 ⑪他金融機関から借入中の有担保住宅ローンまたはリフォームの借入資金 ⑫その他住宅本体以外のもの
お 借 入 金 額	○10 万円以上 1,500 万円以内（1 万円単位）とし、所要金額の範囲内とします。 ○空き家解体を目的とする資金の場合は500 万円以内とします。
お 借 入 期 間	○据置期間（最長 1 か月）を含む 1 年以上 20 年以内とします。 ○ただし、他金融機関から借入中のリフォームローンの借換の場合、借入期間は現在お借入中のリフォーム資金の残存期間内とします。 ○空き家解体を目的とする資金の場合は 10 年以内とします。
お 借 入 利 率	【固定金利型】 お借入時の利率を、完済時まで適用いたします。 利率は店頭に掲示します。詳細については、当 JA の融資窓口へお問い合わせください。
ご 返 済 方 法	元利均等返済（毎月の返済額（元金＋利息）が一定金額となる方法）とし、毎月返済方式、特定月増額返済方（毎月返済方式に加え年 2 回の特定月に増額して返済する）のいずれかをご選択いただけます。特定月返済分はお借入金額の50%以内とし、年 2 回の特定月は 3 か月以上の間隔を空けてご指定いただけます。
担 保	不要です。
保 証 人	当JAが指定する保証機関（島根県農業信用基金協会）の保証をご利用いただきますので、原則として保証人は不要です。
保 証 料	ご融資時に金額・期間に応じた保証料（年率 0.20%：分割後払い方式）をお支払いいただきます。なお、お使いみちが⑩～⑫または他金融機関の有担保住宅ローンからの借換の場合は保証料（年率0.50%：分割後払い方式）となります。
団 体 信 用 生 命 共 済 （ 保 険 ）	当JA 所定の団体信用生命共済（保険）にご加入いただけます。またご希望により「一般団体連生タイプ」「三大疾病保障特約」「三大疾病保障特約連生タイプ」「長期継続入院特約」「がん保障特約付団体信用生命保険」「がん保障特約付団体信用生命保険（連生タイプ）」「ワイド団体信用生命保険」「9 大疾病補償保険」の特約を付保することができ、お借入利率に以下の金利を上乗せします。 三大疾病保障特約および長期継続入院特約、がん保障特約付団体信用生命保険…年 0.1%・一般団体連生タイプおよびがん保障特約付団体信用生命保険（連生タイプ）、ワイド団体信用生命保険…年 0.2%・三大疾病保障特約連生タイプおよび 9 大疾病補償保険…年 0.3%
手 数 料	○ご返済期間終了までの間において、全額または一部繰上返済をされる場合は 0 ～ 55,000 円の手数料（消費税込み）が必要です。 ○ご返済期間終了までの間において、ご返済条件を変更される場合は 0 ～ 5,500 円の条件変更手数料（消費税込み）が必要です。
留 意 事 項	○お申込みに際しては、当 JA および当 JA が指定する保証機関において所定の審査をさせていただきます。審査の結果によっては、ご希望に沿いかねる場合もございますので、あらかじめご了承ください。 ○書面契約の場合、印紙税が別途必要となります。 ○なお、電子契約の場合は印紙税が不要となりますが、0 ～ 5,500 円の電子契約手数料（消費税込み）が必要となります。 ○現在のお借入利率やご返済額の試算については、当 JA の融資窓口までお問い合わせください。

各部からのお知らせ

二人暮らしに
合った間取りに
したい。

バリアフリーに
したい。

最新のキッチンが
ほしい。

我が家も
オール電化に。



詳しくはJAネットローンホームページへ

JAリフォームローン

<https://ja-netloan.jp/guides/reform>



令和8年5月1日現在

アグリマイティー資金

JAしまねは、農業所得増大・生産拡大に向けた
取り組みを積極的に応援します!!



© よりぞう

農地

ビニール
ハウス

コンバイン

運転資金

果樹植栽
・
育成

農業用
トラック

太陽光
システム

農業用
倉庫

家畜購入
・
育成

トラクター

100万円以上のお借入れから、
当初3年間最大1.0%のJAバンク利子補給が受けられます。

幅広い資金使途

農業生産や加工・流通・販売に関わる様々な資金、再生可能エネルギー利用に関わる資金など、ご要望に合わせて幅広くご利用いただけます。

すばやい資金対応

農業経営に必要なあらゆる資金にすばやく対応!

※負債整理資金は対象としません。



農業経営に必要な運転資金・設備資金が事業費の範囲内でお借り入れできます!ご融資期間は対象事業に応じて最長25年間(据置期間は最大で3年。)



詳しくはお近くのJA窓口にお問い合わせください

アグリマイティー資金《商品概要》

令和8年5月1日現在

必要書類

個人の方

1. 資金のお使い道が確認できる書類(見積書等)
2. 運転免許証
3. 所得が確認できる書類
4. お勤め先等が確認できる書類
5. その他
審査に必要となる書類

必要書類の詳細につきましては、
最寄りの各支店へ
お問い合わせください。



©よりぞう

法人・団体の方

1. 資金のお使い道が確認できる書類(見積書等)
 2. 借入決議確認書類
 3. 登記事項証明書(団体様は構成員名簿)
 4. 定款(団体様は規約)
 5. 付属明細を備えた決算書3期分(団体様で決算書未作成の場合はご相談下さい) 設立後1年未満の法人・団体様は、代表者様の所得確認書類
- ※はじめてJAをご利用される法人・団体様はその他必要書類をお願いする場合がございます。

ご利用いただける方	【個人・法人等】(以下の条件をすべて満たす方とします。) ◎当JAの組合員の方 ◎信用状況に不安のない方
資金使途	◎農業経営に必要な運転資金もしくは設備資金(土地取得含む)
借入金額	◎事業費の範囲内とします。 ◎事業費には、登記費用等、付随して発生する一切の費用を含む。
借入期間	◎運転資金は据置期間(最大3年)を含め10年以内とします。 ◎設備資金は据置期間(最大3年)を含め25年以内とします。
借入利率	◎当JA所定の利率といたします。
返済方法	◎元金均等返済、元利均等返済、または元利定額のいずれかとし、①毎月返済方式、②隔月返済方式、③年2回返済方式、④年1回返済方式、または⑤特定月増額返済方式のいずれかとなります。
担保	◎原則不要です。(融資対象物件を担保として提供いただく場合もあります)
保証	◎島根県農業信用基金協会の保証がご利用できます。 ◎ご融資時に金額・期間に応じた保証料(保証料率0.10~0.35%)をお支払いいただきます。 ◎代表者保証人が免除できる場合があります。ただし、通常の保証料率に0.1%上乘せされます。
その他	◎お申込みに際しては、当JAにおいて所定の審査をさせていただきます。審査の結果によっては、ご要望に沿いかねる場合もございますので、予めご了承ください。 ◎最新のお借入利率やご返済額の試算については、各支店までお問い合わせください。

お問い合わせ先はこちら

くにびき地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0852-55-3099	斐川地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0853-73-9610
やすぎ地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0854-27-7277	石見銀山地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0854-84-9052
雲南地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0854-42-9110	島根おおち地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0855-83-1803
隠岐地区本部統括支店	金融課 ☎ 08512-2-1132	いわみ中央地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0855-22-8816
隠岐どうぜん地区本部統括支店	金融課 ☎ 08514-7-8005	西いわみ地区本部統括支店	ローンセンター ☎ 0856-22-1590
出雲地区本部統括支店	資産相談課 ☎ 0853-21-6028	本店 融資部 農業金融課	☎ 0852-67-7762

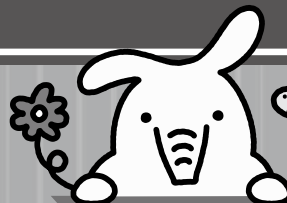
JAしまね 夏の金利優遇 定期貯金キャンペーン

新規で
10万円～

令和8年

期間

7/1(水) ▶ 8/31(月)



©よりぞう

募集総額120億円

組合員および新規組合員加入の方

当JAで、以下①～③の
いずれかのお取引がある方
①年金受取または年金受取予約
②給与振込(農畜産物販売代金含む)
③投資信託口座を保有

左記①～③に該当しない方

預入期間1年

年0.90%
(税引後 年0.717%)

預入期間1年

年0.85%
(税引後 年0.677%)

預入期間3年

年1.20%
(税引後 年0.956%)

預入期間3年

年1.15%
(税引後 年0.916%)

預入期間5年

年1.35%
(税引後 年1.075%)

預入期間5年

年1.30%
(税引後 年1.035%)

組合員以外の方

預入期間1年

年0.80%
(税引後 年0.637%)

預入期間3年

年1.10%
(税引後 年0.876%)

預入期間5年

年1.25%
(税引後 年0.996%)

預入資金／(1) すべてニューマネーによる預け入れ。(2) 当JAの既存定期貯金へ上乗せしての預け替え。この場合、既存の定期貯金1契約につき既存定期貯金契約額の5割以上をニューマネーで上乗せする必要があります。

100万円以上ご契約いただいた方を対象に、
抽選で100名様に10,000円相当のしまね和牛肉
(焼肉用1パック+バラエティ切落とし1パック)をプレゼント!

※複数ご契約いただいた場合は、合算した契約金額が100万円以上となれば抽選対象となります。

※写真はイメージです。



詳しくは右面をご覧ください

商品について			
商品名／	「スーパー定期貯金」「スーパー定期貯金300」		期間／ 令和8年7月1日(水)～8月31日(月)
預入資金／	(1) すべてニューマネー※による預け入れ。 (2) 当JAの既存定期貯金へ上乗せしての預け替え。この場合、既存の定期貯金1契約につき既存定期貯金契約額の5割以上をニューマネー※で上乗せすることが必要です。 【例】1契約100万円の既存定期貯金をお持ちの場合、ニューマネー50万円以上を上乗せした合計150万円以上であれば預け替えが可能です。 ※ニューマネーとは a.令和8年3月以降に他金融機関からの振込・現金により、当JAに新たに預け入れられた資金 b.「年金」…対象となる金額についてはお近くのJA窓口までお問い合わせください。 c.「給与」…対象となる金額についてはお近くのJA窓口までお問い合わせください。 d.令和7年9月以降に振込まれた農畜産物販売代金 定期貯金キャンペーンの商品概要説明書はこちらから▼ 		
ご利用いただける方／	個人の方(県内在住の方に限ります。)		
受付方法／	窓口のみ(ATM、個人JAネットバンクでのお取扱いはできません。)		
預入金額／	10万円以上(預入上限なし)		
預入期間／	1年(単利型)、3年(複利型)、5年(複利型)いずれも自動継続扱いに限りします。		
適用金利の取扱い／	組合員および新規組合員加入の方		組合員以外の方
	当JAで、以下A～Cのいずれかのお取引がある方	左記A～Cに該当しない方	
	●A年金受取または年金受取予約		
	●B給与振込(農畜産物販売代金含む)		
	●C投資信託口座を保有		
預入期間1年／年0.90%(税引後 年0.717%)	預入期間1年／年0.85%(税引後 年0.677%)	預入期間1年／年0.80%(税引後 年0.637%)	
預入期間3年／年1.20%(税引後 年0.956%)	預入期間3年／年1.15%(税引後 年0.916%)	預入期間3年／年1.10%(税引後 年0.876%)	
預入期間5年／年1.35%(税引後 年1.075%)	預入期間5年／年1.30%(税引後 年1.035%)	預入期間5年／年1.25%(税引後 年0.996%)	
キャンペーン金利は預入日から初回満期日まで適用いたします。満期日以降は継続日当日の「スーパー定期貯金」「スーパー定期貯金300」の店頭表示金利を適用いたします。			
税金／	お受取利息には20.315%(国税15.315%、地方税5%)の税金がかかります。		
中途解約時の取扱い／	中途解約された場合は、当JA所定の中途解約利率を適用いたします。		
抽選について			
抽選対象者／	キャンペーン定期貯金を100万円以上ご契約いただいた方が抽選対象となります。 ※1 キャンペーン定期貯金を複数ご契約いただいた場合、合算した契約金額が100万円以上であれば、抽選対象となります。 ※2 8月末までにキャンペーン定期貯金を中途解約された場合、抽選対象外となります。(複数ご契約いただいた方で、中途解約により合算した契約金額が100万円未満となった場合も抽選対象外となります。)		
懸賞内容／	抽選で計100名様に「しまね和牛肉(10,000円相当)」をプレゼント!		
抽選日／	キャンペーン終了後の9月上旬に抽選を行います。		
当選発表／	ご当選された方に対し、9月中に当選通知をお送りいたします。賞品は随時発送させていただきます。		
個人情報の取扱／	取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用します。		
懸賞賞品の説明／	「しまね和牛肉」(10,000円相当) 焼肉用1パック+バラエティ切落し1パック		

当JAへの組合員加入を検討の皆さまへ

組合員になると

- 出資配当を受ける資格があります。

出資金について

- 新たに投資して組合員になる方法
- ※1口1,000円以上の出資を払込みいただきます。



くわしくは、お近くのJA窓口までお問い合わせください。

令和8年4月1日現在

JAしまね 年金予約定期貯金

年金をお受取りになる前の方へ

ハッピー ターン

スーパー定期貯金
【単利型・複利型】



©よりぞう



店頭表示
金利に

年 **0.15%**
金利上乘せ

・中途解約された場合、解約日時点での普通貯金利率を適用します。

くわしくは店頭の商品概要説明書をご確認ください。

●ご契約対象者

満55歳以上であり、年金受取を当JAでご予約いただいた方。

●預入期間

定型方式/1年～5年

期日指定方式/1年～5年未満

※65歳以上であり、当JAで年金をお受取予定の方は1年に限ります。

※定型方式の場合は預入時のお申し出により自動継続(元金継続)の取扱いができます。

●預入金額

1万円以上600万円以下

●預入限度額

お一人さま通算600万円以下

 JAしまね

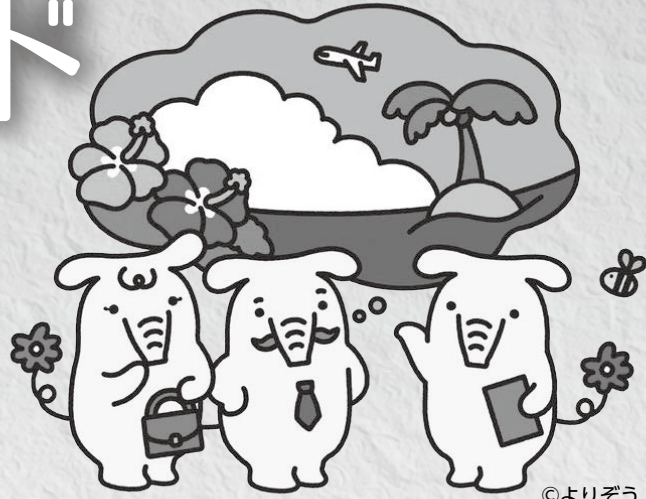
くわしくはお近くの店舗窓口まで
お気軽にお問い合わせください。

令和8年4月1日現在

JALしまね 年金予約定期積金

セカンド ライフ

安心も一緒に、
予約しておきますね。



©よりぞう

定期積金【定額式】

店頭表示
金利に **年0.15%**
金利上乘せ

・中途解約された場合は当JA所定の中途解約利率が適用されます。

くわしくは店頭の商品概要説明書をご確認ください。

- ご契約対象者：満55歳以上であり、年金受取を当JAでご予約いただいた方。
- 契約期間：1年以上10年以下
※65歳以上であり、当JAで年金をお受取予定の方は1年に限ります。
- 払込金額：5,000円以上／回
- 払込方法：契約期間内で掛金を分割して払込みいただきます。
- 払込周期：1か月

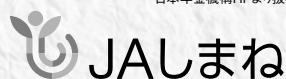
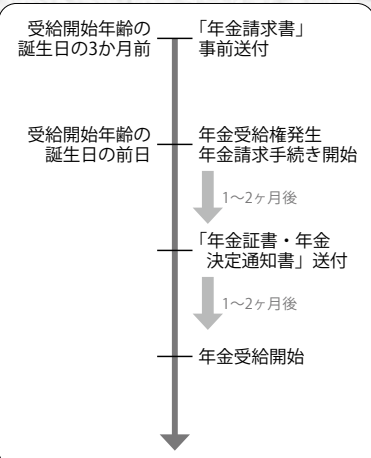
■厚生年金の支給開始年齢

男子 昭和32.4.2～昭和34.4.1生まれ	報酬比例部分	老齢厚生年金
女子 昭和37.4.2～昭和39.4.1生まれ	▲63歳	老齢基礎年金
		▲65歳
男子 昭和34.4.2～昭和36.4.1生まれ	報酬比例部分	老齢厚生年金
女子 昭和39.4.2～昭和41.4.1生まれ	▲64歳	老齢基礎年金
		▲65歳
男子 昭和36.4.2以降生まれ		老齢厚生年金
女子 昭和41.4.2以降生まれ		老齢基礎年金
		▲65歳

※障害をお持ちの方・厚生年金の加入期間が44年(528月)以上の方は、支給開始年齢に特例があります。

日本年金機構HPより抜粋

■年金受給までの流れ(参考資料)



くわしくはお近くの店舗窓口まで
お気軽にお問い合わせください。

令和8年4月1日現在

JALしまね 年金受給者定期貯金

ふくじゅ
福寿

スーパー定期貯金
【単利型・複利型】

大切な年金は、
未来のゆとりの為に。



©よりぞう

店頭表示
金利に

年**0.15%**
金利上乘せ

- ・自動継続後は、各定期貯金の店頭表示金利が適用されます。
- ・中途解約された場合は当JA所定の中途解約利率が適用されます。

くわしくは店頭の商品概要説明書をご確認ください。

●ご契約対象者

当JAに年金の受取口座を指定いただいている方

●預入期間

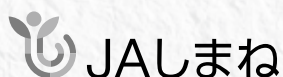
【単利型】1年 【複利型】3年
自動継続扱(元金継続)

●預入金額

1万円以上2,000万円以下

●預入限度額

お一人さま通算2,000万円以下



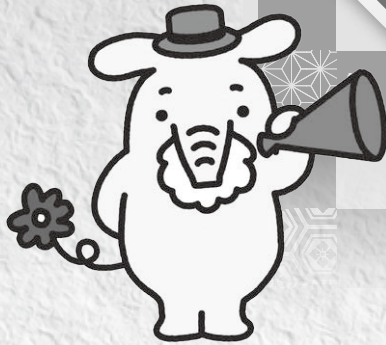
くわしくはお近くの店舗窓口まで
お気軽にお問い合わせください。

JAしまね 年金受給者定期積金

ねんりん

定期積金
【定額式】

明日の幸せを支えます。



©よりぞう

店頭表示
金利に

年**0.15%**
金利上乘せ

・中途解約された場合は当JA所定の中途解約利率が適用されます。

くわしくは店頭の商品概要説明書をご確認ください。

- ご契約対象者
当JAに年金の受取口座を指定いただいている方
- 契約期間
1年以上10年以下
- 払込金額
5,000円以上/回
- 払込方法
契約期間内で掛金を分割して払込みいただけます。
- 払込周期
1か月または2か月

 JALしまね

くわしくはお近くの店舗窓口までお気軽にお問い合わせください。

令和8年4月1日現在

JAしまね 退職金専用定期貯金

第二の人生も、ずっと笑顔で。

満開

スーパー定期貯金【単利型・複利型】／大口定期貯金



©よりぞう

年金予約・受取ありの方

店頭表示
金利に

年**0.50%**
金利上乘せ

上記以外の方

店頭表示
金利に

年**0.30%**
金利上乘せ

- ・自動継続後は各定期貯金の店頭表示金利が適用されます。
- ・中途解約された場合は当JA所定の中途解約利率が適用されます。

くわしくは店頭の商品概要説明書をご確認ください。

●ご契約対象者

退職金の受取日から1年以内にお預け入れ
いただける個人の方で、
下記のいずれかに該当する方。

- (1) 島根県内在住の方
- (2) 島根県内に勤務されている方
- (3) 島根県内に定住予定の方

●預入期間

【単利型】1年 【複利型】3年

【大口】1年・3年

自動継続扱(元金継続または元利金継続)

●預入金額

【単利型・複利型】1万円以上

【大口】1,000万円以上

(退職金と併せて、他金融機関からの
預け替え資金も対象とします。)

くわしくはお近くの店舗窓口まで
お気軽にお問い合わせください。

 JALしまね





誰もが“がん”に
なり得る時代だからこそ！



がんのこと一緒に 考えてみませんか？



1

知ってますか？
がんの今

2人に1人は“がん”
と診断されるリスクが…^{※1}

男性
63.3%*

女性
50.8%*

☐ もしも、がんになったらどんなことが心配ですか？



命にかかわることへの不安



治療費への不安



収入が減ってしまうことへの不安

※1 国立がん研究センター がん情報サービス「累積がん罹患リスク(2021年データに基づく)全がん」

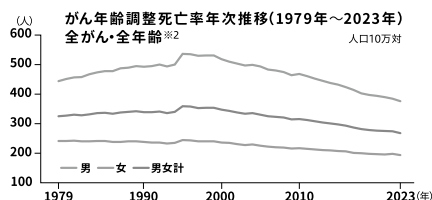
2

知ってますか？
がんの今

がんの死亡率は低下し、5年生存率も向上しています。
がんは、「付き合っていく病気」に変わってきています。

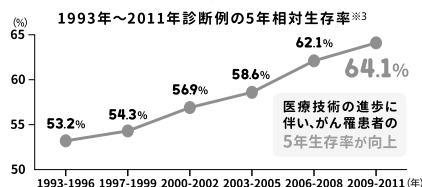


がんの死亡率は低下しています



※2 国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計」(厚生労働省人口動態統計)をもとに
JA共済連作成

がんと診断されてから
5年後も生存されている方が増えています。

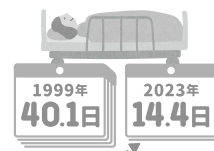


※3 国立がん研究センター がん情報サービス「全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年
生存率報告(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター、2020)独立行政
法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成
22年度報告書」

入院は短期化。通院治療は増加しています。
また、仕事をしながら通院している人も多く、がんは
治療と仕事を両立する時代にもなっています。

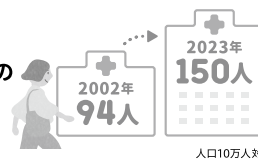
1

がんの平均在院日数は
約20年間で半分に！



2

通院治療は2002年の
約1.5倍に増加



3

仕事をしながら
通院治療している人も多い



①:厚生労働省「平成11年、令和5年 患者調査」をもとにJA共済連作成 ②:厚生労働省「令和5年
(2023) 患者調査の概況」をもとにJA共済連作成 ③:厚生労働省「事業場における治療と仕事
の両立支援のためのガイドライン 令和6年3月改訂版」(資料:厚生労働省「令和4年国民生活
基礎調査」をもとに同省保険局医療課にて特別集計したもの)

しっかり治療に専念できるように、
いまから備えておくことが大切です。

必要な備えについては、右面へ

上皮内がんを含む
さまざまな
“がん”や脳腫瘍の治療を幅広く保障。
診断時や治療が長期化した場合の備えにも対応します。

1
安心

がんの3大治療法に対応!

入院や手術・放射線治療はもちろん、抗がん剤治療やホルモン剤治療、がん性疼痛等の緩和のための在宅医療も保障します。※1

幅広い保障範囲



※1 入院およびこれらの治療を以下「所定のがん治療」といいます。手術、放射線治療、抗がん剤治療、ホルモン剤治療およびがん性疼痛等の緩和のための在宅医療については、公的医療保険制度に基づく所定のがん治療が対象です。 ※2 先進医療保障ありを選択した場合

2
安心

所定のがん治療を受けた月ごとに、
がん治療月額共済金^{※3}を受け取れます!

通院による抗がん剤治療など、入院している場合の治療に限らず、保障します。

※3 がん治療月額共済金のお支払いは、月に1回を限度とします。

通算の支払回数に
上限はありません!



3
安心

オプションの保障で
ご意向にあわせた保障を自由に設計!

まとまった一時金の保障(がん診断共済金^{※4}・がん治療一時金^{※5})

生活費やウィッグの購入費用、妊孕性の温存療法の費用など、がん治療に伴うさまざまな自己負担となる費用にご利用いただけます。

※4 診断保障ありの場合、がん診断共済金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。 ※5 診断保障ありの場合、がん治療一時金は、がん診断共済金または前回のがん治療一時金の支払事由に該当した日からその日を含めて1年を経過した日以後、所定のがん治療を受けた場合にお支払します(1年に1回を限度)。 ※6 がん診断時共済掛金払込免除特別を付加した場合、がん診断時共済掛金払込免除特別による共済掛金の払込免除については、ご契約日からその日を含めて91日目から責任(保障)を開始いたします。

がん診断以後の共済掛金の払込みを免除する保障^{※6}

がんと診断された場合に、共済掛金の払込みを免除することで、がんによる収入減少時にも安心して保障を継続することができます。

*この共済の対象となる「がん」は、所定の悪性新生物(上皮内新生物を含む)および脳腫瘍です。*共済金のお支払いや共済掛金の払込免除には所定の要件があります。

聞かせて!!
くらしのこと アンケート
キャンペーン

簡単なアンケートに答えるだけで
豪華賞品が
当たるチャンス!

応募はこちら▲

お近くのJA窓口へ、お気軽にご相談ください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。
<https://www.ja-kyosai.or.jp>

Q JA共済

●この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

26481020184

建物更生共済

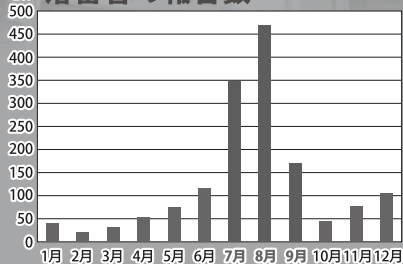
むてきプラス

建物更生共済

My家財

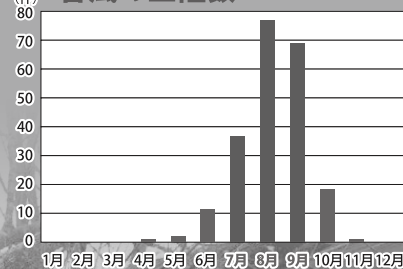
落雷 台風 シーズン到来!!

(件) 落雷害の報告数(2005年~2017年)



※グラフ出典:気象庁ホームページ
※写真はイメージ

(件) 台風の上陸数(1951年~2023年)



災害への備えは万全ですか?

JAからのお知らせ

裏面へ

選んで安心、JAの建物更生共済

建物更生共済の スゴイ ところ!

1

島根県では 約3軒に1軒 が加入!

多くの皆様にJA共済を
選んでいただいています。

火災保険・地震保険は多くの保険会社で
取り扱っていますが、島根県では組合員・
利用者の皆様にJA共済の建物更生共済
を選んでいただいています。(加入シェア
約32%・約3軒に1軒ご加入^{※1)})



2

有事の際にも生活 再建へのお役立ち

火災や自然災害に罹災されても建物更生共済があれば安心です。

JA共済の建物更生共済では火事だけでなく自然災害や地震
も保障対象となります。被害があった際には共済金を受け取っ
ていただくことで生活再建にお役立ちできます。

島根県で令和6年度に受け取っていただいた建物更生共済

支払件数 **2,689件**

支払金額 **約16億5千万円**^{※2}



3

安心の 調査・査定体制!

JAは迅速な調査・査定ができる体制となっている
ので安心です。

万一、台風で被害があった際など「どうしよう」と不安に
なります。そんな時でも島根県では万全の調査員体制を整
えていますので、事故連絡をいただければ迅速に調査・査
定の手続きを進めることができます。

調査員の人数 **382人**^{※3}



4

JA共済アプリで 24時間受付 できます。

万一の際にいつでも連絡・手続きが出来るので安心です。

住宅・家財等に事故(災害)が発生した際には、
JA共済アプリで夜間・休日を問わずに事故報告
することが可能です。

※アプリご利用時の通信量はご利用者さまのご負担となります。
※本アプリはスマートフォン向けアプリのため、フィーチャー
フォンの場合はご利用いただけません。



契約者の声

災害時に直ぐにお
宅は大丈夫ですか
と電話があった。



台風による大雨が発生した際、
建物共済の適用可否を相談した
ところ、親切な説明から現場立合
いを早期に実施してもらい共済利
用申請がスムーズにできた。



暑期中何度も来ていただき、親切にいろいろ
教えていただいています。大雨や強風のあと
は必ず被害はないかと尋ねてくださり大変心
強く感じます。できるだけわたしたちの力に
なろうとの至誠が見て取れます。地元に密着
したサービスをありがたく感じております。
今後ともよろしくお願いします。^{※4}



※1 JA共済連島根調べ ※2 JA共済連島根調べ(令和7年3月末時点) ※3 令和7年12月1日時点 ※4 JA共済満足度調査より一部抜粋

お問い合わせ先

●この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては
「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、
ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご
契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
また、転換契約の際は、「保障見直し設計書」も必ずご覧く
ださい。

[26329990026]

JA共済



自動車事故発生時の

現場急行サービス



夜間・休日も対応します！



平日の日中

JAの職員が現場に駆けつけます



事故がおこってしまったら…



夜間・休日

ALSOKの対応員が現場に駆けつけます

■平日 0時～8時
17時～24時
■土日祝日 終日



ALSOK

夜間・休日現場急行サービスとは

1

JA自動車共済にご加入のみなさまが事故に遭われた時、ご希望があれば事故現場に「JA職員またはALSOKの対応員」が急行します。

2

現場では今後の事故処理対応の説明やアドバイスを行います。

JA共済事故受付センター



0120-258-931

ジ コ は ク ミ ア イ

*JA共済事故受付センターでの事故受付時に現場急行が必要か否かを確認します。

*事故現場からお電話をいただき、ご利用者さまが現場急行を希望された事故が対象となります。

□＜夜間・休日現場急行サービス＞

受付時間：平日は0時～8時・17時～24時、土日・祝日は終日受付
ご契約JAの営業時間内はJAまでご連絡ください。

□JA営業時間内に上記フリーダイヤルにご連絡いただいた場合はJAへ転送します。



□緊急119、警察110もお忘れなくご連絡をお願いします。

□出動拠点から事故現場まで30分超を要する場合や高速道路上、離島、山間部などの一部の場所ではサービスの対象外となる場合があります。

□自損事故などの車両単独事故については、レッカー手配と電話によるアドバイスなどの初期対応サービスとなり、原則、現場急行は行いません。

お問い合わせ

[26329990006]

契約始期日が
令和6年6月1日
以降の皆様へ

JA共済

NEW 全車種を保障

JA自動車共済の レッカー・ロードサービスが新しくなりました

レッカーサービス

事故または故障により自力走行不能となった場合(※)に
レッカー業者が現場に急行し、最寄りの修理工場等まで
お車をけん引いたします。



ロードサービス

故障・トラブルにより自力走行不能となった場合(※)に
対応業者が現場に急行し、お車の応急対応を行います。



- ☐ バッテリーの点検 ☐ ジャンピング ☐ スペアタイヤの交換、タイヤ周りの点検
- ☐ スタック(凍結やぬかるみなどでスリップした状態)からの引上作業

※「自力走行不能となった場合」とは、被共済自動車事故または故障等により、自力で移動することができない状態または法令により走行してはいけない状態をいいます。

1回の事故についてレッカー費用・ロード費用合計で**15万円**までを保障します。

帰宅・宿泊・陸送に
かかる費用もカバー

宿泊サポート

走行不能となり緊急に宿泊した
場合の宿泊費用
1回の事故について1名につき
1万円まで保障

帰宅等サポート

走行不能となり公共の交通手段
で帰宅した場合の費用
1回の事故について1名につき
1万円まで保障

陸送等サポート

修理後、車の引き取りにかかっ
た陸送費または交通費
1回の事故について1名につき
15万円まで保障
※交通費は往路1名分を保障

JA共済サポート
センターへの事前連絡で
さらに安心!

レッカーサービス

限度額 15万円を超えて運搬距離が無制限に※

燃料給油サービス

ガソリン等を最大 10ℓ まで
お届け(1年に1回)

※ご利用者が指定する修理工場等まで運搬することが合理的であると JA 共済サポートセンターが判断し、あらかじめ承認したときは、15 万円の限度額を適用しません。

事前に、JA または JA 共済サポートセンターに
要請された場合のみ本サービスの対象となりますので
ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります!

JA 共済サポートセンター 0120-063-931

※本サービスはレッカー・ロード費用保障条項が締結されている場合にご利用が可能です。※サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。
※各種サービスについて、交通事情・気象状況等により対応業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。
※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」をご参照ください。

家の光 はこんな雑誌です

IE no HIKARI

食と農

家の光
料理カード

農ライフの
すすめ

畑 の 時 間

畑の
時間

協同

農 の 調 味 料

ローカル
ホットナビ

協同組合
学習連載

『家の光』は
4つのたいせつなテーマで構成

家族

親と子の
童話

暮らし

手芸

みんなの
お金相談所

別冊付録

毎月バラエティ豊かな
テーマでお届け



A1-75

暮らしに役立つファミリー誌

家の光

IE no HIKARI



お申し込みは
お近くのJAへ

誌名	定価(税込)
家の光 IE no HIKARI	900円
地上	750円
ちゃぐりん NHK 日本放送協会 絵の巻	600円

購読のお申込・お問い合わせ先

JAしまね出雲地区本部 各支店
又は
ふれあい福祉課 TEL 0853-21-6013

各部からのお知らせ

JAしまね出雲女性部って??

仲間作り・食農教育や地産地消をすすめる活動・環境保全
活動などを行っています!

部員数: 3,152名

※R8.4.1時点

女性部の活動は、 SDGsにつながっています♪

そして、自分たちの思いをかたちにできるのが女性部です♪ 支 部: 27支部



JA女性部に入りませんか??

JAしまね出雲女性部

こんなメリットが!?

✳女性部まつりなど楽しいイベントがもりだくさん♪

✳料理・手芸・環境保全活動など、
毎月催しものをご案内します♪

✳毎週木曜日はラピタ女性部デー♪

✳給油所で使える値引券プレゼント♪



加入するには??

お住まいの地域のJA各支店
にてお手続きください。
お待ちしております♪
(1,000円程度の年会費が必要に
なります。詳しくは各支店に
お問い合わせください)

フレッシュミズ出雲

※50歳以下の方はぜひ♪

次世代を担う、概ね50歳までの方を
対象に、食と農、子育てといった
キーワードを軸に、自分たちの
“やりたい” “楽しい”を
活動として実施して
います♪

お 問 い 合 わ せ 先

JAしまね出雲地区本部 各支店

又は

ふれあい福祉課 TEL 0853-21-6013

支店統廃合のお知らせ

平素は、JAしまね各事業につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本地区本部では下記のとおり支店統廃合を実施することとなりました。大変ご不便をお掛けすることと存じますが、これまで以上に組合員・利用者の皆様の信頼にお応えし、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご不明な点等がございましたら、お取引引き店舗へお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

統 合 日	統合前		統合後	
	店舗名	店舗番号	店舗名	店舗番号
令和8年8月22日(土) 【営業開始日】 令和8年8月24日(月)	大社支店	080	大社支店 (ダイヤ)	080
	荒木支店	082		
	遙堪支店	083		

店舗所在地：出雲市大社町北荒木1174-1（現荒木支店）

電話番号：0853-53-5555（現大社支店の電話番号）

支店名は大社支店として、所在地は現荒木支店の住所へ変更いたします。

その他：現荒木支店の改修工事を実施予定です（6～7月ごろ）

※改修工事期間中も荒木支店は営業を行います。

支店統廃合に伴うQ&A

1.口座番号について

店舗統廃合により、荒木支店（店番：082）・遙堪支店（店番：083）の口座はすべて大社支店（店番：080）に移管いたします。

また、一部の口座は口座番号が変更になります。該当される方には、口座番号が確定次第、別途ご案内させていただきます。

2.貯金通帳の取り扱いについて

※貯金通帳は、統合日以前に変更手続きができませんのでご注意ください。

（１）貯金通帳は統合日以降、JAしまね出雲地区本部各支店で新通帳に切替えいたします。

（２）ATMでは、現在の貯金通帳で引き続きご利用いただけます。また、ATMで通帳繰越した際には、変更後の店舗名・店舗番号に自動的に切り替わりますので、窓口での手続きは不要です。

3.証書の取り扱いについて

証書(定期貯金・定期積金)は、引き続きご利用いただけますので変更手続きは不要です。

4.キャッシュカードの取り扱いについて

現行キャッシュカードで引き続きご利用いただけます。

5.年金受取や給与振込はどうなるのか。また、公共料金等の自動支払はどうなるのか。

年金受取や給与振込、公共料金等の自動支払が当JAの口座をご指定されている場合、口座の変更手続きはJAで行います。ただし、一部の取引についてはJAでの代行手続きができないものがありますので、その際は当JAより個別に手続きのお願いをさせていただきます。

＜JAが代行で手続きができないものの一例＞

- ・振込間隔が数か月に一度のもの
- ・金融機関窓口からの振込
- ・他行等からの給与振込 など

6.ネットバンクやキャッシュカードに振込先登録をしているが、受取人口座の店舗名や口座番号が変更になったらどうすればいいのか。

統合日以降、廃止された店舗への振替および振込ができなくなります。

そのため、前もって受取人に変更後の口座内容等を確認いただき、新しい店舗名・口座番号で振替または振込を行うとともに振込先登録も行ってください。

振込先登録後、旧口座への振込先登録を削除してください。

7.定時自動送金はどうなるのか。

廃止店舗の契約は、継承店舗に引継がれるため手続きは不要です。

※依頼人・受取人の店舗名や口座番号等が変更となった場合でも手続きは不要です。

8.現在加入中のJA共済はどうなるのか。

ご加入いただいているJA共済のお取引店舗名は変更になりますが、契約内容が変更になることはありません。

9.JA共済の引落口座や共済金受取口座の店舗名や口座番号が変更になったらどうすればいいのか。

統合日以前から当JAの口座をご指定されている場合、口座の変更手続きはJAで行います。なお、統合日以降に新たに引落手続きや共済金受取手続きをされる際は、新店舗名および新口座番号での手続きをお願いいたします。

10.出資金はどうなるのか

出資金のお取引店舗は変更となりますが、出資金自体の変更はありません。

「新たな運営体制構築に向けた取り組み」

JAしまねのめざす姿の実現に向けて
各基盤の確立・強化を図るべく、
新たな運営体制の構築に取り組んでいます。

JAしまねのめざす姿
(2030年)

- ① 持続可能な農業の実現
- ② 豊かでくらしやすい
地域共生社会の実現
- ③ 協同組合としての役割発揮

1. 新たな運営体制の検討の背景

JAしまねを取り巻く環境は統合後10年で大きく変化しました。

環境変化に伴い、地域間格差の拡大や収益確保の困難化、人手不足、農業関連施設の維持など、事業継続に影響を与えうる課題に直面しています。

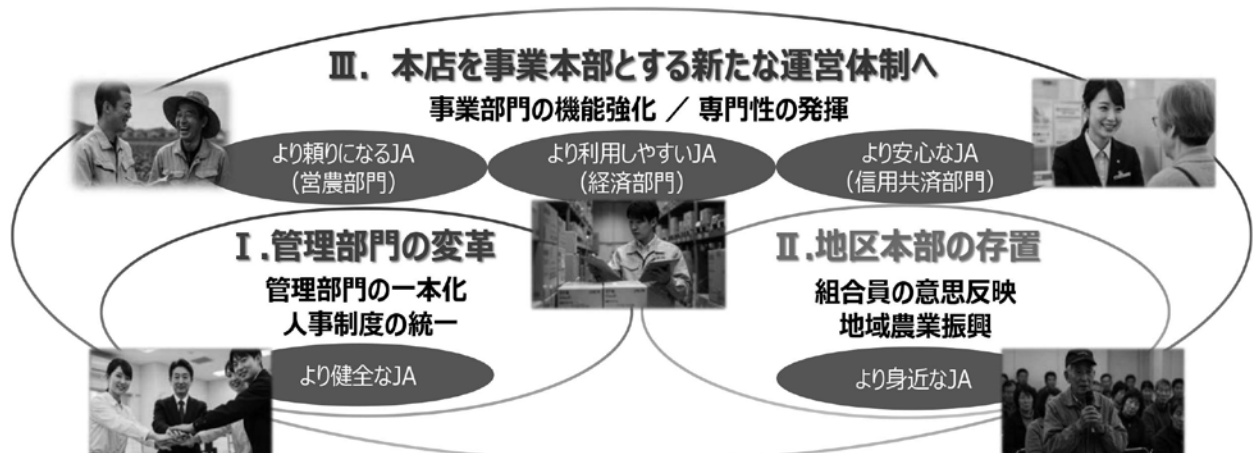
JAしまね全体が一体となり、「新たな運営体制」を構築することで、これらの課題解決に全力で取り組んでまいります。

【統合後10年で変化した経営環境と今後の対応】



2. 新たな運営体制整備計画（第11回通常総代会承認）

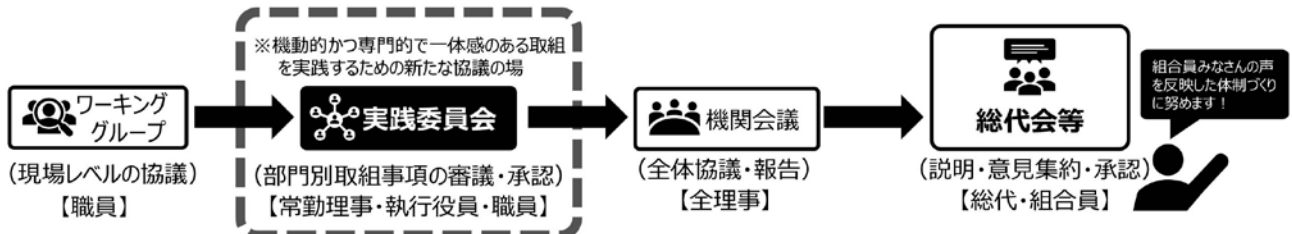
～オールしまねで「新たな運営体制」の構築へ～



3. 新たな運営体制構築に向けた実践体制の確立

第11回通常総代会において承認された「新たな運営体制」の構築に向けた基本方針に基づき、着実かつ円滑に体制整備を進めるため、機動的かつ専門的で一体感のある取組が実践されるよう「新たな運営体制整備実践委員会」を設置しました。

また、専門的議論の必要性に応じ、営農経済・信用共済・管理部門の専門部会を設置し、ワーキンググループと連携した取組を展開しています。



組合員の意見を踏まえ、本店と地区本部が一体的に協議をすすめ、着実に取り組みを進めています。

4. 新たな運営体制構築に向けた「部門別基本構想」の策定

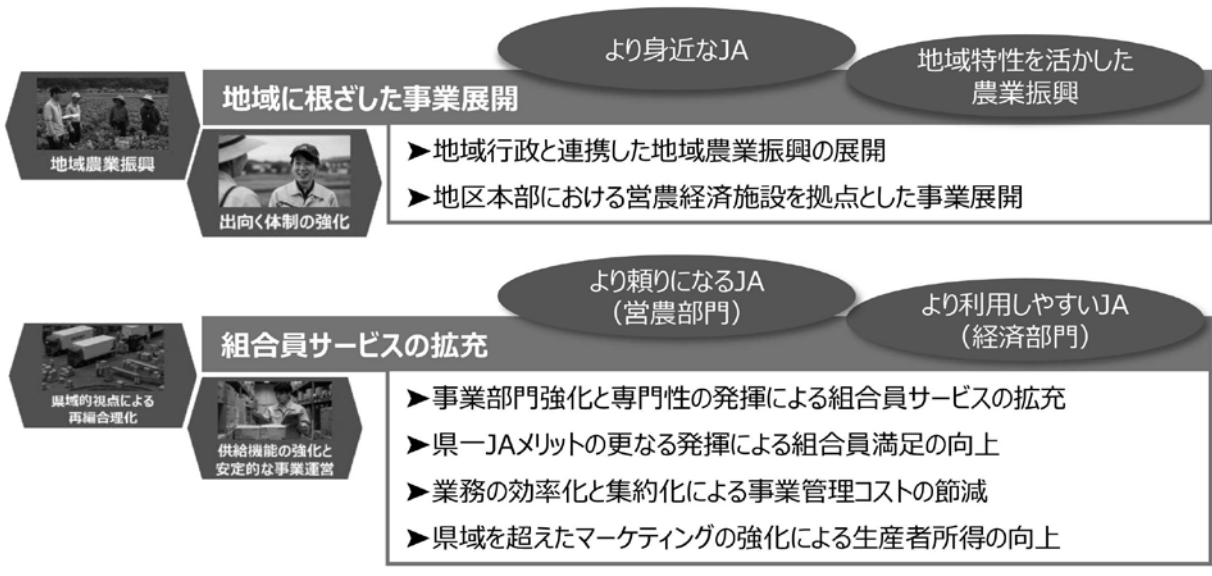
営農経済部門

「新たな運営体制」では「地区本部の存置」による地域に根差した事業展開と、「事業本部制」を導入した専門性や効率性を高めることにより組合員・利用者に対するサービス満足度の向上を目指します。また、地区本部と本店事業の役割・機能を明確にするとともに地区本部の枠を超えた指導とサービスの提供により組合員対応の強化を図ります。

【基本構想】

【営農】～指導・販売力の強化と農業関連施設の維持で「より頼りになる」JA へ～

【経済】～供給力の強化やサービスや機能性の向上で「より利用しやすい」JA へ～



信用共済部門

持続的なサービス提供・向上と効率的な業務体制の構築に向け、本店が各支店を直轄する体制を検討します。

【基本構想】

より安心なJA

【信用・共済】

～すべての組合員に寄り添った相談活動で「より安心な」JA へ～



支店機能整備による「支店力の均質化」「相談活動の強化」の実現



- ▶ 支店事業量・規模の分析により「支店規模を分類」し、基準となる支店要員数（信用・共済）の規格化を検討



出向く体制強化による「専門性の発揮」「寄り添う活動」の実現



- ▶ 支店規模・地域特性を踏まえた「新たな渉外配置基準」を検討
- ▶ 複数支店によるブロック体制を検討（ブロックに渉外管理者を配置）



本店信用・共済事業部門の機能強化による「持続的な事業運営」の実現

- ▶ 統括支店機能の見直しにより、統括支店業務を本店又は支店（基幹店・ブロック）へ移管し、移管する業務に必要な人員の効率的配置を検討
- ▶ 本店が受け持つ業務に対応し、本店の機構・分掌を検討

管理部門

管理部門の県域一本化により、組織の効率化と将来に向けた強固な基盤を構築します。あわせて地区本部は存置し、地域の活性化や組合員との密接な連携を維持します。これにより、経営力と地域密着力を両立させた持続可能な組織体制を実現します。

【基本構想】

より身近なJA

【くらしの活動】

～地区本部の存置と地域とくらしの活動の充実で「より身近な」JA へ～

より健全なJA

【管理】

～徹底した管理部門の効率化・集約で経営基盤の「より健全な」JA へ～



管理部門の集約



- ▶ 現地対応が必要な業務や地区本部マネジメントに関する業務を除き、全ての事務業務を本店に集約
- ▶ 要員の再配置により、組合員対応機能の強化をめざす

<先行実施事項>

- ✓ 本店集約開始：地区本部の管理部門職員の身分を本店へ（令和7年12月1日実施）
- ✓ 本店機構改革：本店事務センターの設置（令和8年3月1日実施）



地区本部 管理部門の再編



- ▶ 組合員の意思反映、地域行政対応、地域づくり・活性化を担う
- ▶ 役割・機能に応じたコンパクトな地区本部機構を再編
- ▶ 各地区本部の事業規模に応じた配置数状況を検証

5. 当面の主な取組

新たな運営体制構築に向けた取組として、「基本計画」と「事業部門別基本構想」の具現化に向けたアクションプランを策定し、着実に体制整備を進めてまいります。

営農経済部門

営農経済部門では、従来の地域農業振興に加え、事業部門の強化と専門性を生かすことで、地域の枠を超えた組合員サービスの拡充に努めます。



信用共済部門

信用共済部門においては、統括支店機能の見直しによる効率的な業務体制の構築や、支店機能の整備、ならびに出向く体制の強化を通じてサービス向上を図ります。



管理部門

管理部門では、事務作業の徹底した効率化と業務集約により、事業管理費の削減を進めます。あわせて、この集約を機に、組合員サービスに直結する部署への人員配置を拡充いたします。



※令和10年度より新たな運営体制に移行

【スケジュール】

	2026年度（令和8年度）	2027年度（令和9年度）
➤ 組合員への説明	定期的な説明・報告	
➤ 管理部門	一次 集約	二次 集約
➤ 新体制による損益管理	地区本部損益管理 システム改修作業・体制整備検討	事業別損益管理（本番テスト）
➤ 営農経済部門	検討	地区本部を超えたサービス展開 広域指導体制の検討
➤ 信用共済部門	検討	事業本部的運営スタート（本番テスト）



〒693-8585 島根県出雲市今市町106番地1
TEL (0853) 23-3311(代) <https://ja-shimane.jp/izumo/>